

保健管理センター年報

第 7 号

1983.12

岐阜大学保健管理センター

目 次

ま え が き	岐阜大学保健管理センター所長	平 川 千 里	1
I 「健康のしおり」の発行について			3
1) 心雑音及び心音について			3
2) 動悸について			5
3) 尿潜血(+)といわれたら			7
4) 尿蛋白(+)といわれたら			9
II 健康管理業務			11
1. 学生の健康管理			11
1) 昭和57年度学生の保健管理業務計画			11
2) 昭和57年度定期健康診断実施計画			12
昭和57年度定期健康診断結果			14
3) 昭和57年度卒業予定者及び運動部所属学生の 健康診断実施計画			18
昭和57年度卒業予定者及び体育サークル部員 健康診断結果			19
4) 入学志願者の健康診断			20
5) 健康管理カード・UPIによる新入生健康調査 ・個別面接			22
6) 昭和50年度～57年度入学生の健康管理カード による健康調査の集計結果			24
7) 昭和53年度～57年度入学生の入学年度内にお ける来所状況			32
8) 昭和52年・53年・54年度教育学部入学生で精 神的な面での援助・指導が必要であった学生 数(実人数)と来所経路			34

9) 昭和57年度休学・退学者数調べ	35
2. 職員の健康管理	36
1) 昭和57年度職員健康診断実施一覧	36
2) 昭和57年度職員一般定期健康診断実施計画	37
3) 昭和57年度肝機能検査及び胃の集団検診実施要領	38
4) 昭和57年度一般定期健康診断実施状況表	39
5) 昭和57年度特別定期健康診断実施状況表	40
3. 昭和57年度保健管理施設利用状況表	42
Ⅲ 保健管理センター規則	49
1) 岐阜大学保健管理委員会規則	49
2) 岐阜大学保健管理センター規則	50
3) 保健管理機構略図	52
4) 学医及び学生相談室員の相談日割	53
5) 関係職員	55
6) 建物平面図	58
7) 主要設備々品	58
(参 考)	
昭和57年度学生教育研究災害傷害保険加入状況	61
昭和57年度学生健康保険互助会加入状況	61
学生教育研究災害傷害保険適用一覧	62
保健管理センター位置図	65

ま え が き

保健管理センター所長

平 川 千 里

本書は岐阜大学保健管理センター年報第7号であって、内容は本学における保健管理業務の実状を御報告するものであり、保健管理の仕事は、一種のサービスとしての面を持ち、縁の下の力持ちである。サービスの量が大きい事は大切なことであり、それと同時に、サービスの質が高いことが大切である。私共の保健管理センターは幸に人材に恵まれ、また関係者各位の御厚意にも恵まれて、量・質共にかなり十分に近いサービスをさせて頂いて来た。

今、私共の大学では統合が急ピッチで実行されつつある。大学の統合という大事業を至近距離で見守れるチャンスは、そうざらにあるものではない、“民族の大移動”である。保健管理センターは大学会館と並んで建設されることになっている。保健管理センターは田中保健管理センター教授、学生部関係者、その他多数の方々が色々なアイデアを持ち寄って、設計に参加され、目下建設中である。

大学の統合地には、次々と新しい建物が姿を現わして、キャンパスらしい様相を半ば示している。周囲は今のところ人家がほとんどなく、農地であるため、大体を見た感じでは広漠たる田園である。そしてその田園の中に既にいくつかの高層ビルが、（未完成のものを含めて）姿を現わした。そのビル群の背部（北側）は、緑濃い、一連の小高い丘が1キロメートル位の距離にある。

大学構内への入口あたりに佇んでキャンパスを眺めると、この小高い緑の丘が、キャンパスの景色をひきたてる恰好な借景になっている事に気づく。

大学の入れ物は、（種々の機器類を含んで）かくて着々と建設されてゆくが、同様に

大切なのは中味、すなわち人である。そして私共の保健管理センターは、こういう人達の健康に第一義的には、かかわっている。

私共の大学キャンパスの“周囲”はかなり立派な川であるが、キャンパスの“真ん中”に小川が一筋流れており、もし統合終了近い時点で、これがもっと川らしい川になれば、その川辺は青空と白雲に似合う場所となり、しばしの寛ぎの場所となろう。

寛ぎこそ学校のあるべき姿、という説を聞いたことがある。学校（英語で school）はギリシャ語の schole であって、その意味はレジャー（leisure）であると云う。保健管理センターが守備範囲とする、相手は何かということを考えるともなく考えると、少くとも次の四者であろうと思われる。即ち、半ばレジャー人間である学生、将来有為の可能性を秘めた学生、彼等のうち何人かを打ち倒す疾患、それを予知して正しい指導・治療のスタートを切らせる保健管理センター、の四者である。この四者のからみ合いが（他の条件と共に）、大切であるという立場に立てば、学生に寛ぎの場所を提供する一本の小川も大切であると、ふと考える。この頃である。

I 「健康のしおり」の発行について

保健管理センターでは、昭和57年2月に「健康のしおり - 健康管理 -」を創刊号として発行し、以来学生が日常生活をして行くうえに必要な一般的な、しかも身近な問題を取り上げ症状別・臓器別・疾病別等に分け、わかり易く編集してある。すでに、8号まで刊行し学生及び教職員に配布して好評を得てきた。今回も前回に引続き健康のしおり9号～12号を発行し配布するとともに今後も引続き発行する予定である。

健康のしおり 9

—— 心雑音及び心音について ——

昭和58年12月

皆さんの中に、健康診断などで「心臓に雑音がある」とか、「心臓の音が少しおかしい」とか言われたことのある人がいるかも知れません。又、医師に直接言われたことのない人でも心雑音とか、心音異常などという言葉を目にしたことのある人は案外多いと思います。ところが、ここで大切なのは、心雑音や心音異常があるからといって、すぐに心臓病に結びつくものではないということです。もっとも、聴診器で聴いただけで、すぐ、心臓のどこが、どう悪いのかが判ってしまう場合もありますが、その反面、その雑音や心音異常が、心臓病のために生じているのではなく、心配がいらぬ場合が結構多いものなのです。それでは、心臓の雑音とか、心臓の音とかいうのは、一体、何なのでしょう、簡単に述べてみたいと思います。

ご存知のように心臓は規則正しく拍動することで全身に血液を送り出しています。心臓には、心房と呼ばれる部屋と、心室と呼ばれる部屋が左右に各々1対ずつあり、心房と心室の間は房室弁という弁を通して交通しています。又、右側の心室からは、肺動脈と呼ばれる血管が、左側の心室からは大動脈と呼ばれる太い血管がそれぞれ出ていて、それらの根元にもやはり、弁が付いています。

まず、正常な心臓に聴かれる“心音”とは一般的に言うと心臓にある弁の閉じる音と考えて頂いてさしつかえないと思います。心臓が規則正しく収縮していれば、又、心臓

に異常がなければ、心臓にある4つの弁は、ある一定の順序、タイミングおよび強さで閉じたり、開いたりしているわけです。普通の場合、弁の閉じる音は聴こえますが、弁の開く音は、正常な心臓では聴くことはできません。

それでは、心音がおかしいと云うのは具体的にどのようなときかというと、心音が異常に強い音であったり、弱い音であったり、心音が異常に分裂して聴えたり、又、正常な心臓で聴かれる音以外の余分な音が聴かれたりするようなときです。しかし、このような場合でも、病的な可能性が示唆されるだけで、すぐ、心臓病に結びつくものではありません。次に述べる心雑音との組み合わせでさらに判断されるわけです。それでは心雑音というのはどのようなものなのでしょうか、ご存知のように心臓は、血液を心室から送り出す時期（収縮期）と、血液が心室に入ってくる時期（拡張期）と交互にくり返しています。その間、絶えず血液が心臓の中を行ったり来たりしているわけで、ゴムホースに耳をあてると、その中を水が流れるのが判るように正常な心臓でも心室から大動脈や肺動脈へ血液を押し出すときや、又、心房から心室へ血液がかえってくるときに、多かれ少なかれ雑音が聴かれるものなのです。ただし、そのような雑音は、血液の粘稠度、血管の硬さや太さ、あるいは心臓の“収縮力”などに影響され、なかには心臓の一部が胸骨や肋骨に圧迫されて生じる場合もあります。ましてや、心臓の4つの弁のうち、一つでも正常に機能していなかったり、あるいは、心臓の中を仕切っている仕切りに穴があいていたりすれば心臓は特別な雑音を発生し、医師に異常を知らせてくれます。そのような場合、上述の“心音”の異常と組み合わせて判断され、どこの弁が、どういう具合に働きが悪いのか、又、仕切りの穴がどこに、どれくらいの大きさであいているのかを予測することができます。しかし、心臓の病気というものは、心音や心雑音だけで判断できる病気は限られていて、心電図、胸部X線写真、心エコーなどの検査や、自覚症状、全身状態等と組み合わせられて病気を判断するのですから、心雑音、心音というものは、心臓に病気があるかどうかを判断するための一つの補助にすぎません。ですから、心臓に雑音がある、又、心音がおかしいと医師に言われても、いたづらに心配する必要はなく、それが、病的なものか、そうでなくて出ている雑音なのかを判断してもらえばよいわけです。

なお、これらのことについて、さらに詳しく知りたい方は、保健管理センター・保健室へおいでください。

また、保健管理センター・保健室では、心身の健康上の問題は勿論のこと誰に相談してよいかわからないようないろいろな悩み事についても相談にのっています。相談内容の秘密は守られますので気軽に利用してください（電話でも受け付けます）。

身近の人達にも利用をすすめてください。

保健管理センター	< 0582 >	31 - 4161	内線 387
長良保健室	< 0582 >	31 - 4161	内線 259
柳戸保健室	< 0582 >	30 - 1111	内線 2380

健康のしおり 10

—— 動 悸 に つ い て ——

昭和58年12月

普段から健康で、しかも大した病気らしい病気をしたことのない人でも、次のような感じを覚えたことのない人は、まずいないでしょう。例えば、“胸がドキドキする”、“胸がはずむ”、“胸がつまる”、“心臓の音が聞こえる”など、人によって感じ方はさまざまですが、このような感じを覚えたことが一度や二度は、みなさんもあるはずです。

これが、いわゆる動悸を表現する言葉の具体例のいくつかですが、激しい運動のあとだとか、急に驚いたりしたとき、あるいは試験の直前で緊張した時とかなど、たいていの場合、動悸を感じずにはそれなりの誘因があるものです。もちろん、そのような誘因があって動悸を感じずることは、健康人においてごく当然な反応であり、心配する必要もないことは、みなさんもお存じのはずです。

それでは、どのような時にあるいはどんなふうに動悸を感じると、注意をした方がよいのでしょうか。これも非常に個人差がありますが、例えば、気の小さい人はちよっとしたことでも動悸を感じやすいでしょうし、また非常に太っていたり、運動をほとんどしない人も、急に軽いスポーツや、かけ足程度でも動悸を感じることもあるでしょう。この程度であれば、自分で判断できるはずですので、自分自身でコントロールをしていただければ結構だと思います。ただし、睡眠不足、アルコールやタバコの飲み過ぎなどで、

動悸を感じる人がいると思いますが、中には、それらが誘因となり、ある種の注意を要する発作性の不整脈を起こしてくる場合もありますので、無茶な生活は慎んだ方がよいことは言うまでもありませんが、一般的に次のようなときには一度医師に相談した方がよい場合があります。

- 急に起こり、急に止まる動悸を感じ、胸苦しさを覚えるようなとき。
- 普段と変わらない生活をしているのに、以前と較べて動悸を頻回に、あるいは、持続的に感じるようなとき。
- 運動、あるいは労作中に普段より極端に動悸を強く感じ、運動後もそれがなかなかおさまらないようなとき。

以上のようなときには、一度、相談した方がよいと思います。

このような時でも、すべて心臓病に結びつくものではなく、発熱、甲状腺機能亢進、高度の貧血、脱水、低血糖、貧血、起立性低血圧などのように心臓の働きに影響を及ぼす全身状態の表われであることがあり、心臓が悪いのではと心配していたら、心臓以外の予期せぬ病気が見つかることがあるかもしれません。もちろん、それとは逆に今まで自分は心臓は悪くないと思っていたのが、聴診や心電図で異常を指摘されることもあるかもしれません。

いずれにしても、以前に心臓が悪いと医師に言われたことがない人なら、少々動悸を感じても、たいていの場合は異常のないことの方がはるかに多いものです。

また、別に全身状態の異常もなく、心臓自体にも異常がないのに、心臓が悪いのではと不安になり、それが原因で必要以上に動悸とか、胸の圧迫感を感じ、自分で勝手に心臓病だと、思い込んでしまう人もおります。このような人はむしろ、将来（40才～50才台）心臓病にならないように、スポーツなどを継続して行ない、それによって、ストレスを発散させることに心がけることが、心臓病（虚血性心臓病）の予防にもなるのではないかと思います。

なお、これらのことについて、さらに詳しく知りたい方は、保健管理センター・保健室へおいでください。

また、保健管理センター・保健室では、心身の健康上の問題は勿論のこと誰に相談してよいかわからないようないろいろな悩み事についても相談にのっています。相談内容の秘密は守られますので気軽に利用してください（電話でも受け付けます。）。

身近の人達にも利用をすすめてください。

保健管理センター < 0582 > 31 - 4161 内線 387

長良保健室 < 0582 > 31 - 4161 内線 259

柳戸保健室 < 0582 > 30 - 1111 内線 2380

健康のしおり 11

—— 尿潜血(+)といわれたら ——

昭和58年12月

普通、健康診断などで、尿検査をして潜血(+)というのは、尿の中にある程度以上の血液が混じっている場合で、こういう場合は、しばしば、腎、尿管、膀胱、尿道といった尿が血液から濾過されて作られ、出てくる一連の臓器に病変があることが多いものです。血液が混じった尿は、血尿といますが、血尿には、肉眼ではっきりとわかる肉眼的血尿と、顕微鏡でしかわからない顕微鏡的血尿とがありますが、普通、健診に用いる試験紙では、この顕微鏡的血尿もチェックできます。しかし、血尿ではない赤色尿（例えばヘモグロビン尿や、ある種の下剤や、ある種の抗結核剤の使用時）や、女性では月経血の混入は、血尿と区別しなければなりません。これらのものを除外して血尿ということになれば、血尿と共にどんな症状があるかということが問題になります。例えば、頻尿、排尿痛（この痛みも尿道が痛いのか下腹が痛いのかいろいろです。）側腹部痛の有無、少し前に咽頭痛など上気道の感染を思わせる症状はなかったか、高血圧（しばしば頭痛とかメマイで出現することもあります。）が比較的急に出現してないか、浮腫、腹部の腫瘤などはないかということに注意してみてください。以上のようなことを、受診時に医師に伝えてください。血尿の診断をする上で大変大切な事柄です。

血尿という以上、腎臓から尿道に至たる何処かの部位から、血液が尿の中に混じるのです。それには各種の疾患が考えられますが、私共が外来診察を行なっていて、最も多く血尿を呈する疾患に、糸球体腎炎と、腎、尿管結石の2つがあります。

先程述べた高血圧、浮腫があれば勿論のこと、それらがなくとも尿蛋白（肉眼的血尿ではない時で30mg/dl以上）や、尿沈査で円柱という物質がある時など、又これに加え

て、少し前に上気道感染の経験（主にノドの痛みや咳）があればなおのこと、この糸球体腎炎が疑われます。このように糸球体腎炎が疑われた時には、医師は、更に、血液の検査や、腎臓の生検（細い針を腰から刺して — 勿論、麻酔をした上でですが — 腎臓のほんの一部を取り、顕微鏡で調べることを）を勧める場合がありますし、又、前述した糸球体腎炎を疑わせる症状が強ければ、即座に入院を勧めるでしょう。糸球体腎炎は、気づかずに放置していると、病状が更に進行していくことがしばしばありますので、勧められた検査は受け、しっかりと診断をつけ、医師の指示に従って治療したいものです。

一方、腎、尿管結石は、腎臓、尿管などの中に石ができて、それがこれら臓器の内壁をこするために血尿が生ずるものです。この石ができる原因にはいろいろあって、その原因によって石の種類もいろいろです。例えば、カルシウム結石、尿酸結石、尿酸結石などがありますが、稀にですがこの結石ができる原因になる疾患（例えば、痛風とか、副甲状腺の病気）にも注意が必要です。尿管結石が、結石発作という激しい腹部～背部痛ではじめて発見されることもあるのですが、検尿、潜血(+)ではじめてみつかることもしばしばあります。この結石発作を防ぐためにも、又、結石が尿の流れをせき止め、流れの上流にある腎臓の機能を悪くしてしまわないためにも、早目に治療するのが望ましいのです。腎、尿管結石を診断するには、腹部のレントゲン検査や、腹部の超音波検査、腎、尿管の造影検査をおこなって診断します。

以上の2つの疾患が普段最もしばしばみられる血尿の原因となる疾患ですが、この他に、腫瘍を含めて、膀胱や尿道の疾患、男性では前立腺の疾患などもあります。しかし、何といても問題になるのは、いろいろの検査をしても原因不明の顕微鏡的血尿です（尤も、原因不明の肉眼的血尿も時々あるのですが……）。こういう時は、やはり2～3カ月に1回は尿の検査を、そしてある程度の年齢の人は、尿の細胞診や、腎、尿管の造影も時々うける必要があるかもしれません。そして、これらの検査で検査結果が悪くなってきたら、更に詳しい検査を繰り返しておこなう必要がでてきます。

とにかく、検尿という極めて簡単な検査でこれらの病気がチェックできるのです。健診時の検尿は、是非受けるようにしたいものです。

なお、これらのことについて、さらに詳しく知りたい方は、保健管理センター・保健室へおいでください。

また、保健管理センター・保健室では、心身の健康上の問題は勿論のこと誰に相談し

てよいかわからないようないろいろな悩み事についても相談にのっています。相談内容の秘密は守られますので気軽に利用してください（電話でも受付けます）。

身近の人達にも利用をすすめてください。

保健管理センター < 0582 > 31 - 4161 内線 387

長良保健室 < 0582 > 31 - 4161 内線 259

柳戸保健室 < 0582 > 30 - 1111 内線 2380

健康のしおり 12

—— 尿蛋白(+)といわれたら ——

昭和58年12月

「尿蛋白(+)」、これは、健康診断の時、あるいは、病院での尿検査でかなり多くの人がいわれた経験があると思います。尿蛋白は、糸球体腎炎をはじめとして、種々の尿路系の疾患で認められるものですが、いわゆる良性の蛋白尿といわれるものが非常に多いということを念頭におかなければなりません。今回は、この、いわゆる良性の蛋白尿について述べてみようと思います。

我々は、正常者でも、尿中に、1日あたり40~80mgという微量の蛋白の排泄をみます。妊婦では、かなり多量の尿中への蛋白排泄がありますが、そうでない人では大体、1日150mg以上の蛋白排泄を蛋白尿という場合が多いようです。ただ、健診や、外来診察で1日の尿中蛋白排泄量を調べることは不可能ですから、随時尿を使うということになります。全く正常なら、この随時尿でも、試験紙を使って(+)以上となることはまずありませんが、(±)になることはしばしばみられることです。又、尿が濃縮されていれば(+)となるのに、飲水後の稀釈されている尿では(-)となってしまうことがあり、判定を誤まることもあり得ますので、夜間濃縮された早朝第1回目の尿で陰性なら、尿蛋白に関しては陰性と判定していいと思われれます。

さて、いわゆる良性の蛋白尿の中で、特に若い人々によくみられるものに、起立性蛋白尿があります。これを診断するには、就寝前に採尿、直ちに寝て、早朝起床時に直ちに採尿、更に、受診時に採尿という3回の採尿、検尿をおこない、就寝前と受診時の尿

蛋白が+)で、早朝起床時の尿蛋白が-)なら、起立性蛋白尿と診断をつけてもいいと思われ
 れます。しかし、腎臓の疾患でも、起立位によって尿蛋白は悪化します。しかしこの場
 合は、起立性蛋白尿とはいいません。大切なのは、早朝起床時の尿蛋白が-)であるとい
 うことです。又、この他に、過激な運動をおこなった後や、38℃を越えるような発熱の
 時にも、尿蛋白(+)となることがあります。従って、健診で尿蛋白をチェックする時には、
 このように検査に影響の出るようなことは避けなければなりません。又、これらの良性
 の尿蛋白は、一般に1日に1.0gを越えることはまずありません。しかし、問題なのは、
 慢性糸球体腎炎でも、1日に1.0g以下の尿蛋白のことがあるということです。

慢性に経過する糸球体腎炎は、臨床上大きく2つに分けて考えると、病変がほとんど
 進行せず、時には治癒することがあると考えられているものと、進行が速い遅いはとも
 かく、常に進行していると考えられるものとに分けられます。後者が、慢性糸球体腎炎
 といわれるものです。しかし、前者の場合でも、長期間の観察なしで診断を下すことは
 不可能であり、十分な経過観察が必要です。従って、検査の結果、持続性の蛋白尿であ
 るとの診断がでたら、更に詳しい検査をする必要があります。検査には、各種の血液の
 検査の他に、腎臓の機能検査、レントゲン検査、超音波検査などがあります。これらの
 検査の他に、更に腎臓の生検まで必要になることもあります。

いずれにせよ、尿蛋白(+)といわれたならば、それが起立性蛋白尿なのか、発熱、過激な
 運動によるものなのかハッキリさせ、それ以外の蛋白尿の場合は、十分な検査と、経過
 の観察が必要です。

なお、これらのことについて、さらに詳しく知りたい方は、保健管理センター・保健
 室へおいでください。

また、保健管理センター・保健室では、心身の健康上の問題は勿論のこと誰に相談し
 てよいかわからないようないろいろな悩み事についても相談にのっています。相談内容
 の秘密は守られますので気軽に利用してください（電話でも受け付けます）。

身近の人達にも利用をすすめてください。

保健管理センター < 0582 > 31 - 4161 内線 387

長 良 保 健 室 < 0582 > 31 - 4161 内線 259

柳 戸 保 健 室 < 0582 > 30 - 1111 内線 2380

Ⅱ 健康管理業務

1. 学生の健康管理

1) 昭和57年度 学生の保健管理業務計画

区分	対象者	実施期間	検査項目等	備考
健康調査及びUPIテスト	新入生全員	入学直後	健康調査及びUPI (A5)	粗面接を行い必要によって 随時、保健管理センターに おいて精密面接を行う。
定期健康診断	学部学生	4月中旬	内科診察 エックス線間接撮影 身体計測(身長、体重、視力) 検尿(蛋白、糖) 健康管理カードによる即応症	
	大学院生	5月下旬		
精密健康診断	短大生	4月下旬 6月上旬	エックス線直接撮影、血沈、内科診察、心電図、尿 検査、血圧測定	
	卒業予定者	10月上旬～中旬	検尿(蛋白、糖)、血圧測定、貧血検査	
臨時健康診断	卒業予定者 (1,200人)	10月中旬	"	
	運動部所属 学生(950人)	10月中旬 10月下旬	エックス線直接撮影、血沈、心電図、検尿、血圧測定	
精密健康診断	要再検査者	随 時	内科診察、エックス線直接撮影、血沈、検尿、血圧 測定、心電図	
	継続観察者精密健診	"	血液検査、皮膚の検査	
特別健康診断	放射線取扱者健診	"		
	特定有害薬品使用者	5月 11月	自覚症状等の検査、口腔及び皮膚の検査、血液の検査、尿の検査、肺臓の検査、肺活量の検査等	

2) 昭和57年度 定期健康診断実施計画

月日	曜日	対 象	対象人員	検査区分	場 所	時 間	担当医師数	担当看護婦数	備 考
4.14	水	医学部・医学研究科	350人	一 般	医学部教育棟玄関	12:00~15:00	3	2	一般健診 { 内科診察 胸部エックス線間接撮影 尿検査(職員は35才以上) 血圧測定(職員のみ35才以上) 身体計測(身長・体重) 視力測定
15	木	教育学部4年	350	"	保健管理センター	13:30~16:30	3	3	
16	金	"	該当者	再 検	"	9:00~11:00		3	
21	水	教育学部3年	350	一 般	"	13:30~16:30	3	3	
22	木	"	該当者	再 検	"	9:00~11:00		3	
"	"	短期大学部	300	一 般	工学部	17:30~20:00	2	2	
27	火	"	該当者	再 検	柳戸保健室	17:00~18:00		1	
28	水	教養部(T ₂ 、A ₂)	500	一 般	教養部1・2号館	13:00~16:30	5	4	
30	金	"	該当者	再 検	保健管理センター	9:00~11:00		3	
5.6	木	工学部・工学研究科	750	一 般	工学部	12:30~16:30	6	3	
7	金	柳戸地区職員	300	"	"	13:00~16:30	3	3	再 検 査 { 血圧測定 尿検査
10	月	教養部(T ₂ 、A ₂)	該当者	再 検	保健管理センター	9:00~11:00		3	
11	火	農学部・農学研究科・那加地区職員	730	一 般	農学部学生控室 那加保健室	12:00~16:30	6	5	
12	水	教養部(2年女、L ₂ ・M ₂)	500	"	教養部1・2号館	13:00~16:30	5	4	
13	木	"	該当者	再 検	保健管理センター	9:00~11:00		3	
"	"	工学部・工学研究科	"	"	柳戸保健室	9:00~15:00		1	
14	金	柳戸地区職員	"	"	"	"		2	
17	月	那加地区職員	"	"	那加保健室	9:00~15:00		2	
18	火	長良地区職員	230	一 般	保健管理センター	13:00~16:30	3	4	
19	水	教養部(T ₁ 、A ₁)	500	"	教養部1・2号館	13:00~16:30	5	4	
20	木	"	該当者	再 検	保健管理センター	9:00~11:00		3	精密検査 { 内科診察 心電図 血液検査 血糖検査 胸部エックス線直接撮影
"	"	司地区職員	350	一 般	附属病院外来棟前	13:00~16:30	3	4	
21	金	"	350	"	"	"	3	4	
"	"	農学部・農学研究科	該当者	再 検	那加保健室	9:00~15:00		2	
26	水	教養部(1年女、L ₁ ・M ₁)	500	一 般	教養部1・2号館	13:00~16:30	5	4	
27	木	"	該当者	再 検	保健管理センター	9:00~11:00		3	
6.2	水	長良地区職員	"	"	"	"		3	
未定		医学部・医学研究科	"	"	附属病院内科外来	9:00~11:00		1	

(学部学生及び短期大学部学生)

昭和57年度

定期健康診断結果

学部	年次	在学人数	休学者数		対象者数	受診者数	受診率	未受診者数	胸部エックス線撮影						内科診察					検査件数					尿検査					血糖検査件数										
			疾病によるもの	疾病以外によるもの					受検者数	要撮影者数		直接撮影結果			受診者数	要観察者数	要精査者数	要治療者数	未受診者数	内科診察回数	心電図	血圧測定	血液検査	血沈・その他	専門医療機関依頼	受検者数	要再検者数	蛋白再検結果			糖再検結果									
										間接結果によるもの	内科診療によるもの	継続観察者数	正常者数	要観察者数(継続)														要治療者数(継続)	未受検者数		正常者数	要観察者数	要治療者数	未受検者数	正常者数	要観察者数	要治療者数	未受検者数		
教養部	1	981	1	1	979	924	94.3	55	924	4		4										924	46	34	12															
	2	1,081		8	1,073	987	91.9	86	987	(1)5		5										987	41	31	7	3														
	計	2,062	1	9	2,052	1,911	93.1	141	1,911	(1)9		9										1,911	87	65	19	3														
教育学部	3	339			339	328	96.7	11	328	3		1	2									328	10	7	3															
	4	350		6	344	315	91.5	29	315	1		1										315	11	7	4															
	計	689		6	683	643	94.1	40	643	4		2	2									658	21	14	7															
医学部	1	87	1		86	80	93	6	79																															
	2	85			85	77	91	8	76	2		1	1																											
	3	81			81	66	81	15	66	1		1																												
	4	76	1		75	51	68	24	51	1		1																												
	計	329	2		327	274	83.7	53	272	4		3	1																											
工学部	3	295		2	293	271	92.5	22	271	2		2																												
	4	373	1	3	369	335	90.8	34	335	4	2	4	(2)2																											
	計	668	1	5	662	606	91.5	56	606	6	2	6	(2)2																											
農学部	3	201	2	2	197	196	99.4	1	196	1		1																												
	4	212	1	3	208	201	96.6	7	201																															
	計	413	3	5	405	397	98	8	397	1		1																												
小計	4,161	7	25	4,129	3,831	92.7	298	3,829	24	2	21																													
工業短期大学部	1	165		1	164	151	92.1	13	151																															
	2	133		2	131	78	59.5	53	78	1		1																												
	3	188	2	16	170	85	50	85	81	1																														
	計	486	2	19	465	314	67.5	151	310	2		1																												
合計	4,647	9	44	4,594	4,145	90.2	449	4,139	26	2	22	5	1																											

(研究生及び専攻生)

研 究 科	年 次	在 学 生 数	休学者数		対 象 者 数	受 診 者 数	受 診 率	未 受 診 者 数	胸部エックス線撮影						内科診察					検査件数					尿検査					血 糖 検 査 件 数			
			疾 病 に よ る も の 数	疾 病 以 外 に よ る も の 数					受 診 者 数	要 直 接			再診察結果		内 心 血 血 血 専 門 医 療 機 関 依 頼 診 察 回 定 査 他	受 診 者 数	蛋 白				糖												
										間 接 撮 影 結 果 に よ る も の 数	要 撮 影 者 数	内 科 診 察 に よ る も の 数	正 常 者 数	要 観 察 者 数			要 治 療 者 数	未 受 診 者 数	内 科 診 察	正 常 者 数	要 観 察 者 数	要 治 療 者 数	未 受 診 者 数	要 再 検 者 数	再 検 結 果			要 再 検 者 数	再 検 結 果				
																									要 再 検 者 数	正 常 者 数	要 観 察 者 数		要 治 療 者 数		未 受 診 者 数	正 常 者 数	要 観 察 者 数
医 学 研 究 科	1	9			9	6	66.6	3	6																								
	2	15			15	13	86.6	2	12																								
	3	10			10	8	80	2	8																								
	4	9			9	6	66.6	3	6																								
	計	43			43	33	76.7	10	32																								
工 学 研 究 科	1	62			62	60	96.8	2	60	1			1																				
	2	40		1	39	39	100		39																								
	計	102		1	101	99	98	2	99	1			1																				
農 学 研 究 科	1	59			59	58	98.3	1	58																								
	2	41			41	40	97.5	1	40	1			1																				1
	計	100			100	98	98	2	98	1			1																			1	
合 計	245		1	244	230	94.2	14	229	2			2							1													1	

重複障害教育 教員養成課程	17			17	12	70.5	5	12							1																			
教育専攻科生	5			5	3	60	2	3																										
工学研究生																																		
農学研究生																																		
農業別科	3			3	3	100		3																										

3) 昭和57年度 卒業予定者及び運動部所属学生の健康診断実施計画

1. 日 程

月日	曜	時 間	対 象	対象人員	場 所
9. 8	水	13:00~ 16:00	教育学部卒業予定者	371 ^人	保健管理センター 保健室
9	木	9:00~ 11:00	〃 再検	該当者	〃
10	金	9:00~ 11:00	〃 再検	〃	〃
28	火	12:00~ 13:00	医学部卒業予定者	85	医学部
29	水	12:00~ 13:00	〃 運動部所属学生	381	〃
10.13	水	13:00~ 16:00	運動部所属学生	974	保健管理センター 保健室
14	木	9:00~ 11:00	〃 再検	該当者	〃
15	金	9:00~ 11:00	〃 再検	〃	〃
20	水	13:00~ 16:00	工学部卒業予定者	413	工学部
21	木	13:00~ 16:00	農学部卒業予定者	253	農学部
22	金	17:30~ 19:30	工業短期大学部卒業予定者	187	工業短期大学部
26	火	9:00~ 11:00	工学部卒業予定者 再検	該当者	柳戸保健室
27	水	17:30~ 18:30	工業短期大学部卒業予定者 再検	〃	〃
28	木	9:00~ 11:00	農学部卒業予定者 再検	〃	〃

2. 検査項目

- (1) 尿検査 (蛋白・糖)
- (2) 血圧測定
- (3) 内科診察 (運動部所属学生のみ)

昭和57年度 卒業予定者及び体育サークル部員健康診断結果

区 分	在 学 生 数	休 学 者 数	对 象 者 数	受 診 者 数	受 診 率 %	内 科 診 察			血 圧			尿 蛋 白			尿 糖			
						要 再 診 察 者 数	再 診 結 果		再 診 未 受 診 者 数	要 再 検 者 数	再 検 結 果		再 検 未 受 検 者	要 再 検 者 数	再 検 結 果		再 検 未 受 検 者	
							正 常	要 観 察			要 治 療	正 常			要 観 察	要 治 療		
学 部	348	6	342	310	90.6				19	19		17	15	1	1			
教 育 学 部	77	1	75	73	97.3			6	10	4		5	3	2	0			
医 学 部	371	3	321	302	94.1				40	40		10	7	1	2	0		
工 学 部	212	2	203	182	89.7				23	20	3	10	7	3	0			1
農 学 部	1,008	12	941	867	92.1			6	92	83	3	42	32	7	2	1		1
計	9		9	5	55.6				2	1	1	1	1	1	0			-
医学研究科	39		39	35	89.7				6	6		1	1					1
工学研究科	41	2	39	28	71.8				4	3	1	0			0			1
農学研究科	89	2	87	68	78.2				12	10	2	2	1	1	0			2
計	175	25	150	64	43.0			1	4	3		1			1			
工業短期大学部	1,272	39	1,178	999	84.8			7	108	96	5	45	33	8	2	2		3
小 計			710	314	44.2	0		1	13	8	4	39	34	5				2
体育サークル学生			1,888	1,313	69.5	0		8	121	104	9	84	67	13	2	2		5
合 計																		

4) 入学志願者の健康診断

a) 昭和57年度岐阜大学選抜時の健康診断実施要領

「大学入学者選抜実施要領」（昭和52年6月30日付け文大大第247号大学局長通知）に基づき本学入学者選抜時の健康診断は、下記要領により実施するものとする。

記

1. 健康状況のは握

入学志願者の健康状況のは握については、調査書の「健康の状況」の記載によることを原則とする。ただし昭和54年度以前の高等学校卒業生及び大学資格検定の合格者等調査書を提出することができない者については、医師が証明する本学所定の健康診断書によるものとする。

2. 調査書（健康の状況）及び健康診断書の審査

学長から委嘱された健康診断医があらかじめ審査し、精密検査の要・不要を判定する。

3. 精密検査

健康診断医が必要と判定した者に対しては、次の項目のうち必要な検査を行うものとする。

- (1) エックス線直接撮影
- (2) 血沈
- (3) 尿
- (4) 内科
- (5) 眼科
- (6) 耳鼻咽喉科
- (7) 整形外科
- (8) その他必要事項

4. 入学適否の判定

健康診断委員会は、次の区分により入学の適否を判定する。

A 入学を適当と認められる者

- B 教授会で協議を要する者
- C 入学を不相当と認められた者

b) 昭和57年度岐阜大学入学者選抜時の健康診断判定基準

入学者選抜時の健康診断は、昭和52年6月30日付け文大大第247号通達に準拠して実施し、
本学の特質を考慮して入学の適否を判定する基準を次のとおり定める。

1. 入学を許可しない方針のもの

- (1) 矯正視力が両眼とも0.1以下の者（1眼が0.2以上あれば支えない。）

医学部においては、(1)のほか次に該当する者

- (ア) 矯正視力が1眼0.02以下、他眼0.5以下の者

（1眼が失明していても、他眼の矯正視力が0.6以上あれば差し支えない。）

- (イ) 視野が両眼ともに10度以内の者

- (ウ) 両眼による視野の2分の1以上が欠けている者

- (2) 色覚異常について

教育学部美術工芸学科においては、強度異常・弱度異常の者

農学部獣医学科においては、強度異常の者

- (3) 聴覚異常について

医学部及び農学部においては、両耳の500、1000、2000周波数の平均聴力損失が、
60デシベル以上（平均聴力レベルが70デシベル以上）の者（40cmの距離で発した普通話声
を解し得ない者）

- (4) その他疾病若しくは身体の障害等により、修学上困難がある者

2. 該当者数

検査項目 学部	内科診察	血 沈	検 尿	X 線 直接撮影	視 力 色 覚	その他	計	
							延件数	実人員
教育学部	2	1			1		4	3
医学部	4				2	1	7	7
工学部	4		1				5	4
農学部	2				2	1	5	5
計	12	1	1		5	2	21	19

3. 判定結果

- A 入学を適当と認められた者 14人
 B 教授会で協議を要する者 3人
 C 入学を不適当と認められた者 2人

5) 健康管理カード・UPIによる新入生健康調査・個別面接

a) 新入生の健康調査・保健管理特に精神健康管理について

昭和42年度から新入生全員を対象とした個別面接を、定期健康診断の一環として、教育学部・教養部の心理学担当教官、医学部・附属病院の精神医学担当教官・医師の協力を得て実施してきたが、昭和53年度から実施方法・時期・要再接の判定基準などを変更し、新入生全員の健康状態の把握、精神不安定・不健康な者の早期発見、それらの早期の対処、さらに積極的に不健康の予防、人格的発達への寄与などを目的に、健康調査・個別面接として継続実施している。

要領：入学後4～5日以内に、配布・記入済の保健管理カード・UPIを保健管理センターへ本人に持参させ、提出時にそれらを資料として、1人4～5分程度の面接を行い、各人の心身の健康状態を調査し、集団生活・修学上の諸問題について適切な指導・助言を与え、さらに保健管理センターの組織・技能について説明し利用することをすすめる。

面接・調査の結果、さらに詳しく診察・検査・面接を要すると判定された者については、早い時期（定期健康診断実施前）に事後措置・再接を行う。

面接・調査は、保健管理センターの保健管理医（精神科医・内科医）・保健婦、教育・工・農学部及び学生部厚生課の看護婦、学校医、教育学部・教養部の心理学担当教官（保健管理センター非常勤講師）が担当する。

b) 昭和54年度～58年度入学者の健康調査・個別面接結果

項目 \ 年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	計
入学者数(人)	943	947	992	981	1,007	4,870
面接済者数(人)	939	943	981	974	1,006	4,843
面接受検率(%)	99.6	99.6	98.9	99.2	99.9	99.4
要再接触者数(人)	124	169	143	134	180	750
要再接触者率(%)	13.2	17.9	14.6	13.7	17.9	15.5
再接触済者数(人)	116	162	139	126	177	720
再接触受検率(%)	93.5	95.9	97.2	94.0	98.3	96.0

学部
 施し
 員の
 的に
 ている。
 へ
 の心身
 らに保
 ま、早
 ・工・
 管理セ

6) 昭和50年度～昭和57年度入学生の健康管理カードによる健康調査の集計結果

1. 訴えた自覚症状 (男子)

項目	年度別		50年		51年		52年		53年		54年		55年		56年		57年		計	
	訴えた学生数・率		訴えた学生数 a	$\%(\frac{a}{712})$	訴えた学生数 a	$\%(\frac{a}{684})$	訴えた学生数 a	$\%(\frac{a}{716})$	訴えた学生数 a	$\%(\frac{a}{729})$	訴えた学生数 a	$\%(\frac{a}{730})$	訴えた学生数 a	$\%(\frac{a}{724})$	訴えた学生数 a	$\%(\frac{a}{720})$	訴えた学生数 a	$\%(\frac{a}{707})$	訴えた学生数 a	$\%(\frac{a}{5722})$
自覚症状	よくかぜをひく		185	26.0	170	24.9	171	23.9	196	26.9	174	23.8	159	21.9	174	24.1	161	22.7	1,390	24.2
	ひどい寝汗をかくことがある		45	6.3	32	4.7	46	6.4	47	6.5	30	4.1	40	5.5	29	4.0	28	3.9	297	5.1
	口が渇くことがある		121	17.0	86	12.6	97	13.5	150	20.6	131	17.9	124	17.1	104	14.4	109	15.4	922	16.1
	顔や下肢がむくむことがある		12	1.7	11	1.6	7	0.9	10	1.4	7	0.9	12	1.6	9	1.2	7	0.9	75	1.3
	おなかをよくこわす		165	23.2	170	24.9	179	25.0	218	29.9	236	32.3	232	32.0	192	26.6	161	22.7	1,553	27.1
	よく便秘する		66	9.3	54	7.9	69	9.6	70	9.6	59	8.1	44	6.0	50	6.9	35	4.9	447	7.8
	頭が重かったり痛んだりすることがある		156	21.9	154	22.5	142	19.8	155	21.3	150	20.5	138	19.0	121	16.8	116	16.4	1,132	19.7
	めまい、立ちくらみがある		269	37.8	262	38.3	276	38.5	263	36.1	244	33.4	260	35.9	220	30.5	221	31.5	2,015	35.2
	息苦しくなって困ることがある		28	3.9	28	4.1	13	1.8	17	2.3	10	1.4	22	3.0	19	2.6	25	3.5	162	2.8
	疲れやすく元気がない		66	9.3	64	9.4	68	9.5	81	11.1	58	7.9	67	9.2	40	5.5	48	6.7	492	8.5
	手足のつることがある		135	19.0	139	20.3	135	18.9	180	24.7	148	20.3	131	18.0	151	20.9	152	21.4	1,171	20.4
	めだって体重が増減したことがある		46	6.5	34	5.0	36	5.0	50	6.9	44	6.0	50	6.9	40	5.5	40	5.6	340	5.9
	関節・腰などに痛みを感じることがある		108	15.2	113	16.5	98	13.7	122	16.8	140	19.2	104	14.3	140	19.4	99	14.0	934	16.3
薬剤使用後に熱・発疹が出たり気分が悪くなったことがある		23	3.2	27	4.0	28	3.9	24	3.3	25	3.4	33	4.5	17	2.3	17	(2.4)	194	3.3	

訴えた自覚症状（女子）

年度別 訴えた学生数・% 項目		50年		51年		52年		53年		54年		55年		56年		57年		計	
		訴えた学生数 a	% ($\frac{a}{227}$)	訴えた学生数 a	% ($\frac{a}{243}$)	訴えた学生数 a	% ($\frac{a}{220}$)	訴えた学生数 a	% ($\frac{a}{230}$)	訴えた学生数 a	% ($\frac{a}{209}$)	訴えた学生数 a	% ($\frac{a}{219}$)	訴えた学生数 a	% ($\frac{a}{260}$)	訴えた学生数 a	% ($\frac{a}{267}$)	訴えた学生数 a	% ($\frac{a}{1875}$)
自覚症状	よくかぜをひく	63	27.8	65	26.7	60	27.3	62	26.9	59	28.2	61	27.8	66	25.3	62	23.2	498	26.5
	ひどい寝汗をかくことがある	7	3.8	4	1.6	4	1.8	5	2.2	5	2.4	5	2.2	3	1.1	2	0.7	35	1.8
	口が渇くことがある	21	9.3	21	8.6	21	9.5	39	17.0	32	15.3	32	14.6	35	13.4	33	12.3	234	12.4
	顔や下肢がむくむことがある	1	0.4	6	2.5	7	3.2	6	2.6	14	6.7	4	1.8	9	3.4	5	1.8	52	2.7
	おなかをよくこわす	40	17.6	45	18.5	43	19.5	50	21.7	41	19.6	53	24.2	54	20.7	61	22.8	387	20.6
	よく便秘する	36	15.6	54	22.2	46	20.9	55	23.7	40	19.1	44	20.0	67	25.7	50	18.7	392	20.9
	頭が重かったり痛んだりすることがある	84	37.0	78	32.1	68	30.9	79	34.3	69	33.0	75	34.2	79	30.3	68	25.4	600	32.0
	めまい、立ちくらみがすることがある	110	48.5	97	39.9	86	39.1	102	44.3	104	49.8	75	34.2	113	43.4	88	32.9	775	41.3
	息苦しくなって困ることがある	8	3.5	8	3.3	4	1.8	9	3.9	6	2.9	9	4.1	12	4.6	6	2.2	62	3.3
	疲れやすく元気がない	11	4.8	29	11.9	17	7.7	22	9.6	19	9.1	22	10.0	19	7.3	21	7.8	160	8.5
	手足のつることがある	52	22.9	37	15.2	38	17.3	63	27.4	50	23.9	43	19.6	68	26.1	45	16.8	396	21.1
	めだって体重が増減したことがある	13	5.7	8	3.2	9	4.0	12	5.2	17	8.1	8	3.6	13	5.0	22	8.2	102	5.4
	関節・腰などに痛みを感ずることがある	45	19.8	50	20.6	48	21.8	66	28.7	48	23.0	48	21.9	61	23.4	44	16.4	401	21.3
薬剤使用後に熱・発疹が出たり気分が悪くなったことがある	12	5.3	9	3.7	7	3.2	12	5.2	9	4.3	6	2.7	16	6.1	15	5.6	86	4.5	

2. 訴えた自覚症状の数

(男子)

年度別 訴え数	50 年		51 年		52 年		53 年		54 年		55 年		56 年		57 年		計	
	学生数 a	$\%(\frac{a}{712})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{684})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{716})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{729})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{730})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{724})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{720})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{707})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{5722})$
0	169	23.7	162	23.7	198	27.7	149	20.4	165	22.6	188	26.0	194	26.9	219	30.9	1,225	21.4
1	174	24.4	149	21.8	155	21.6	166	22.8	176	24.1	154	21.3	177	24.5	160	22.6	1,311	22.9
2	134	18.8	168	24.6	145	20.3	147	20.2	161	22.1	161	22.2	132	18.3	133	18.8	1,181	20.6
3	93	13.1	90	13.2	89	12.4	111	15.2	81	11.1	89	12.3	102	14.1	78	11.0	733	12.8
4	63	8.9	57	8.3	56	7.8	76	10.4	76	10.4	56	7.7	60	8.3	59	8.3	503	8.7
5	45	6.3	25	3.6	36	5.0	35	4.8	37	5.1	31	4.3	30	4.1	31	4.3	270	4.7
6	16	2.3	20	2.9	18	2.5	18	2.5	19	2.6	28	3.9	16	2.2	14	1.9	134	2.3
7	13	1.8	6	0.9	10	1.4	14	1.9	9	1.2	12	1.6	6	0.8	6	0.8	76	1.3
8	5	0.7	7	1.0	9	1.3	13	1.8	6	0.8	5	0.7	3	0.4	7	0.9	55	0.9
合 計	712	100.0	684	100.0	716	100.0	729	100.0	730	100.0	724	100.0	720	100.0	707	100.0	5,722	100.0

(女子)

年度別 訴え数	50 年		51 年		52 年		53 年		54 年		55 年		56 年		57 年		計	
	学生数 a	$\%(\frac{a}{227})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{243})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{220})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{230})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{209})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{219})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{260})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{267})$	学生数 a	$\%(\frac{a}{1875})$
0	39	17.2	53	21.8	44	20.0	35	15.2	31	14.8	36	16.4	49	18.8	66	24.7	353	18.8
1	52	22.9	57	23.5	54	24.6	48	20.9	47	22.5	62	28.3	53	20.3	73	27.3	446	23.7
2	51	22.5	50	20.6	41	18.6	42	18.3	44	21.1	38	17.4	51	19.6	48	17.9	365	19.4
3	34	15.0	29	11.9	37	16.8	45	19.6	32	15.3	34	15.5	41	15.7	30	11.2	282	15.0
4	30	13.2	23	9.5	23	10.5	28	12.2	26	12.4	21	9.6	31	11.9	22	8.2	204	10.8
5	10	4.4	21	8.6	10	4.5	15	6.5	9	4.3	14	6.4	18	6.9	14	5.2	111	5.9
6	5	2.2	6	2.5	8	3.6	9	3.9	10	4.8	6	2.7	6	2.3	6	2.2	56	2.9
7	6	2.6	2	0.8	2	0.9	3	1.3	5	2.4	5	2.3	5	1.9	3	1.1	31	1.6
8	0	0.0	2	0.8	1	0.5	5	2.1	5	2.4	3	1.4	6	2.3	5	1.8	27	1.4
合 計	227	100.0	243	100.0	220	100.0	230	100.0	209	100.0	219	100.0	260	100.0	267	100.0	1,875	100.0

3. 既往症

(男子)

年度別 既往症名	50年		51年		52年		53年		54年		55年		56年		57年		計	
	学生数 a	% ($\frac{a}{712}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{684}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{716}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{729}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{730}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{724}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{720}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{707}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{5722}$)
肺結核	2	0.3	1	0.2	4	0.5	1	0.1	2	0.3	1	0.1	1	0.1	1	0.1	13	0.2
その他の結核			2	0.3	1	0.1	1	0.1	2	0.3			1	0.1	2	0.2	9	0.1
心疾患	3	0.4	2	0.3	6	0.8	7	1.0	2	0.3	5	0.6	6	0.8	2	0.2	33	0.5
腎疾患	17	2.4	19	2.8	20	2.8	23	3.1	18	2.5	11	1.5	11	1.5	10	1.4	129	2.2
肝疾患	6	0.8	5	0.7	2	0.3	4	0.5	5	0.7	4	0.5	7	0.9	3	0.4	36	0.6
気管支喘息	6	0.8	15	2.2	19	2.7	13	1.8	18	2.5	19	2.6	16	2.2	21	2.9	127	2.2
貧血	8	1.1	12	1.8	13	1.8	14	1.9	17	2.3	13	1.7	15	2.0	14	1.9	106	1.8
リュマチ	5	0.7	2	0.3	4	0.5	4	0.5	6	0.8	3	0.4	5	0.6	2	0.2	31	0.5
小児マヒ	3	0.4	2	0.3	1	0.1	1	0.1			1	0.1					8	0.1
てんかん					1	0.1			1	0.1	1	0.1	2	0.2	1	0.1	6	0.1
ノイローゼ			2	0.3	1	0.1	1	0.1			2	0.2	1	0.1	1	0.1	8	0.1
精神・神経疾患	1	0.1	2	0.3					2	0.3					2	0.2	7	0.1
交通事故による疾患	10	1.4	12	1.8	7	1.0	10	1.4	8	1.1	15	2.0	10	1.3	15	2.1	87	1.5
その他	8	1.1	24	3.5	31	4.3	73	10.0	75	10.3	46	6.3	42	5.8	41	5.7	340	5.9

(女子)

年度別 既往症名	50年		51年		52年		53年		54年		55年		56年		57年		計	
	学生数 a	% ($\frac{a}{227}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{243}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{220}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{230}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{209}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{219}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{260}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{267}$)	学生数 a	% ($\frac{a}{1875}$)
肺結核									1	0.5	2	0.9	1	0.3			3	0.1
その他の結核			2	0.8									1	0.3	1	0.3	4	0.2
心疾患	1	0.4			1	0.5	1	0.4									3	0.1
腎疾患	3	1.3	3	1.2	6	2.7	8	3.5	6	2.9	4	1.8	3	1.1	5	1.8	38	2.0
肝疾患	1	0.4													2	0.7	3	0.1
気管支喘息	5	2.2	3	1.2	1	0.5	6	2.6	1	0.5	8	3.6	6	2.3	6	2.2	36	1.9
貧血	12	5.3	17	7.0	10	4.5	19	8.3	17	8.1	12	5.4	20	7.6	13	4.8	120	6.4
リュマチ	2	0.8	1	0.4	1	0.5			1	0.5			1	0.3			6	0.3
小児マヒ							1	0.4									1	0.05
てんかん									2	0.9			1	0.3			3	0.1
ノイローゼ			1	0.4					1	0.5							2	0.1
精神・神経疾患			2	0.8													2	0.1
交通事故による疾患	3	1.3	1	0.4	5	2.3	1	0.4	4	1.9	5	2.3	1	0.3	2	0.7	22	1.1
その他	4	1.8	6	2.5	15	6.8	24	10.5	13	6.3	6	2.7	19	7.3	10	3.7	97	5.1

7) 昭和53年度～57年度入学生の入学年度内における来所状況

1. 来所学生数、来所経路及び健康相談結果

	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	計
入 学 生 数	964	943	947	992	981	4,827
自主的に来所した学生数	126	88	110	104	106	534
すすめられて来所した学生数	202	187	198	175	199	961
計 = 来所学生数	328 (34.0)	275 (29.2)	308 (32.5)	279 (28.1)	305 (31.1)	1,495 (31.0)
精神的な面で援助・指導が必要であった学生数	197 <60.1>	135 <49.1>	192 <62.3>	160 <57.3>	219 <71.8>	903 <60.4>
身体的な面の対処のみでよかつた学生数	131 <39.9>	140 <50.9>	116 <37.7>	119 <42.7>	86 <28.2>	592 <39.6>

() 内は入学生数に対する%、< >内は来所学生数に対する%

2. 来所動機及び来所経路

		53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	計
精神的な訴えをもって来所した学生数	自主的に	25	1	8	2	7	43
	すすめられて	110	94	106	104	97	511
	計	135 (14.0)	95 (10.1)	114 (12.0)	106 (10.7)	104 (10.6)	554 (11.5)
身体的な訴えをもって来所した学生数	自主的に	101	87	102	102	99	491
	すすめられて	92	93	92	71	102	450
	計	193 (20.0)	180 (19.1)	194 (20.5)	173 (17.4)	201 (20.5)	941 (19.5)

() 内は入学生数に対する%

身
所

身
よ

精
要

4.

精
所
身
所
す
もの

3. 身体的な訴えの来所学生健康相談結果

	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	計
身体的な訴えをもって来所した学生数	193	180	194	137	201	941
身体的な面の対処のみでよかった学生数	131 <67.9>	140 <77.8>	116 <59.8>	119 <68.8>	86 <42.8>	592 <62.9>
精神的な面での対処が必要であった学生数	62 <32.1>	40 <22.2>	78 <40.2>	54 <31.2>	115 <57.2>	349 <37.1>

< >内は身体的な訴えの来所学生数に対する%

4. 精神健康面で医療・援助・指導が必要であった学生の来所動機

	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	計
精神的な訴えをもって来所した学生数	135	95	114	106	104	554 <61.4>
身体的な訴えをもって来所するもそれが精神的なものであった学生数	62	40	78	54	115	349 <38.6>
計	197 (20.4)	135 (14.3)	192 (20.3)	160 (16.1)	219 (22.3)	903 (18.7)

()内は入学生数に対する%

< >内は精神的な面で援助・指導が必要であった学生数に対する%

8) 昭和52・53・54年度教育学部入学生で、4年間で卒業した学生のうち来所した学生の来所動機・経路及び面接結果

	4年間で卒業した学生数	来所した学生数	精神的な訴えをもって来所した学生数				身体的な訴えをもって来所するもそれが精神的なものだった学生数				精神的な面で援助・指導が必要であった学生数			
			自主的に		計	自主的に		計	自主的に		計	自主的に		計
			すすめられて	自主的に		すすめられて	自主的に		すすめられて	自主的に		すすめられて	自主的に	
52年度	354	282 (79.7)	4 (1.1)	13 (3.7)	17 (4.8) <6.0>	60 (16.9)	25 (7.1)	85 (2.4)	64 (18.1)	38 (10.7)	102 (28.8) <36.2>			
53年度	317	277 (87.4)	12 (3.8)	39 (12.3)	51 (16.1) <18.4>	39 (12.3)	21 (6.6)	60 (18.9)	51 (16.1)	60 (18.9)	111 (35.0) <40.1>			
54年度	307	171 (55.7)	1 (0.3)	27 (8.8)	28 (9.1) <16.4>	30 (9.8)	8 (2.6)	38 (12.4)	31 (10.1)	35 (11.4)	66 (21.5) <38.6>			
計	978	730 (74.6)	17 (1.7)	79 (8.1)	96 (9.8) <13.2>	129 (13.2)	54 (5.5)	183 (18.7)	146 (14.9)	133 (13.6)	279 (28.5) <38.5>			

() な卒業学生に対する%

< > は来所学生に対する%

9) 昭和57年度休学・退学者調べ

理由	区分 学部	休学者数						退学者数							
		教 育	医	工	農	大 学 院	工 業 短 大	計	教 育	医	工	農	大 学 院	工 業 短 大	計
病 気 の た め	精神障害		2	1	1			4							
	結核														
	その他	1	2		2		6	11		1		1			2
	小計	1	4	1	3		6	15		1		1			2
一身上の都合		8		18	17	2	8	53	5		11	10	1		27
家庭の都合							3	3	1		1				2
勤務の都合							22	22					4		4
死亡									1						1
その他						1		1			1				1
計		9	4	19	20	3	39	94	7	1	13	11	5		37

は来所学生に対する%

2. 職員の健康管理

1) 昭和57年度職員健康診断実施一覧

区分	対象者	期間	検査項目等
一般定期健康診断	職員全員 (1,515名)	5月	1. 内科検診 2. 胸部エックス線間接撮影 3. 身体測定(身長、体重、視力)
	35才以上 (900名)	"	1. 血圧測定 2. 尿中たんぱく及び糖の検査
	40才以上 (680名)	10月	1. 胃の検査(エックス線間接撮影) 2. 肝臓機能検査
一般定期健康診断(精密検査)	再検者及び 精検者	5月～6月	1. 胸部エックス線直接撮影、血沈、内科検診、心電図 2. 尿検査、血圧測定、その他
特別定期健康診断	タイピスト (17名)	10月～12月	自覚症状等の検査、眼の検査、上肢、頸部、背部の機能検査
	理学療法士 (2名)	"	自覚症状等の検査、皮膚の検査、上肢、頸部、背部の機能検査
	夜勤者 (200名)	"	自覚症状等の検査、血圧の測定、尿の検査
	自動車運転手 (14名)	"	自覚症状等の検査、眼の検査、聴器の検査、平衡機能の検査、胃腸の検査、血圧の測定、上肢、頸部、及び腰部の機能検査
	給食等関係者 (39名)	" (検便毎月)	自覚症状等の検査、伝染病の検査、寄生虫の検査、皮膚の検査、腰部の機能検査
	病原体取扱者 (750名)	5月 11月	自覚症状等の検査、病原体による疾病に特有な症状の検査、病原体の検査
	チェンソー等 取扱者(3名)	"	自覚症状等の検査、筋力の検査、血圧の測定、末しょう循環機能検査、末しょう神経機能検査
	放射線取扱者 (280名)	3ヶ月毎	皮膚の検査、問診、血液の検査(6ヶ月毎)
特定有害業務 従事者等 (260名)	5月 11月	自覚症状等の検査、口くう及び皮膚の検査、血液の検査、尿の検査、肺臓の検査、肺活量の検査等	

5月
13
5月
9
6月
9
5月
13
6月
9
6月
11
5月
13
6月
13
5月
12
5月
9
6月
15
5月
6月

(備考)

2) 昭和57年度 職員一般定期健康診断実施計画

日 時	対象地区	検 査 等 項 目	場 所	備 考
5月7日(金) 13:00~16:30	柳戸地区	内科診察、エックス線間接撮影 血圧測定及び尿検査(35才以上の者)	工学部1階 講義室	医 師 3人 看護婦 3人
5月14日(金) 9:00~15:00		血圧測定及び尿検査	柳戸保健室	再検査者
6月9日(水) 9:00~10:00		血沈及びエックス線直接撮影	〃	精密検査者
5月18日(火) 13:00~16:30	長良地区	内科診察、エックス線間接撮影 血圧測定及び尿検査(35才以上の者)	保健管理 センター	医 師 3人 看護婦 4人
6月2日(水) 9:00~11:00		血圧測定及び尿検査	〃	再検査者
6月9日(水) 11:00~12:00		血沈及びエックス線直接撮影	〃	精密検査者
5月20日(木) 21日(金) 13:00~16:30	司地区	内科診察、エックス線間接撮影 血圧測定及び尿検査(35才以上の者)	附属病院	医 師各3人 看護婦各4人
6月9日(水) 13:00~14:00		血沈及びエックス線直接撮影	〃	精密検査者
5月11日(火) 12:00~16:30	那加地区	内科診察、エックス線間接撮影 血圧測定及び尿検査(35才以上の者)	農 学 部 学 生 控 室 那加保健室	医 師 6人 看護婦 5人
5月17日(月) 9:00~15:00		血圧測定及び尿検査	那加保健室	再検査者
6月9日(水) 15:00~16:00		血沈及びエックス線直接撮影	〃	精密検査者
5月10日(月)	農学部附属 山地開発 研究施設	内科診察、エックス線間接撮影 血圧測定及び尿検査(35才以上の者)	高山保健所	0577- 33-1111 保健予防課
6月 日()	農 学 部 附属演習林	内科診察、エックス線間接撮影 血圧測定及び尿検査(35才以上の者)	益田保健所	05765- 2-3111 保健予防課

(備考) 1. 地区別の区分は、次のとおりとする。

- ① 柳戸地区 — 事務局、学生部、工学部、工業短期大学部
- ② 長良地区 — 教育学部、教養部、附属図書館長良分館、保健管理センター
- ③ 司地区 — 医学部、同附属病院、附属図書館医学部分館
- ④ 那加地区 — 農学部、附属図書館、同那加分館

2. かくたん検査については、諸検査の結果、精密検査を必要とする者について、実施する。
3. 教育学部附属小・中学校については、別に実施する。

3) 昭和57年度肝機能検査及び胃の集団検診実施要領

(1) 受検対象者

- a、満40才以上の者
- b、上記以外で検査を希望する者

(2) 検査方法

3ccの採血をして行う。

(3) 検査項目

GOT、GPT

(4) 採血日時等

期 日	時間	対 象 部 局	胃検診場所	肝機能検査 採血場所	備 考
10月12日(火)	9:00 } 11:00	教 育 学 部 教 養 部 附 属 図 書 館 長 良 分 館 保 健 管 理 セ ン タ ー	附 属 図 書 館 長 良 分 館 前	長 良 保 健 室	
10月13日(水) } 10月15日(金)	9:00 } 11:00	医 学 部 医 学 部 附 属 病 院 附 属 図 書 館 医 学 部 分 館	医 学 部 教 育 棟 前	②	② 司地区職員の肝機能検査は、11月に行う特別定期健康診断の際に、併せて実施する予定であるので、今回は行はない。
10月13日(水)	9:00 } 11:00	事 務 局 ・ 学 生 部 農 学 部 農 学 部 附 属 農 場	工 学 部 ピロテイ	工 学 部 ピロテイ (共同実験室Ⅱ)	
10月14日(木)	9:00 } 11:00	工 学 部 附 属 図 書 館 工 業 短 期 大 学 部			
10月15日(金)	9:00 } 11:00	教 育 学 部 附 属 小 ・ 中 学 校	事 務 室 前	保 健 室	

4) 昭和57年度 一般定期健康診断実施状況表

検査項目 部局	胸部X線間接撮影				胸部X線直接撮影				尿検査				血圧測定				胃検査				肝機能検査				
	対象者	受実 診員	受延 診員	経過 観察数	対象者	受実 診員	受延 診員	経過 観察数	対象者	受実 診員	受延 診員	経過 観察数	対象者	受実 診員	受延 診員	経過 観察数	対象者	受実 診員	受延 診員	経過 観察数	対象者	受実 診員	受延 診員	経過 観察数	
事務局・ 学生部 (保健管理 センター を含む)	95	67	67	71	3	3	3	100	66	37	37	56	10	66	40	40	61	47	14	14	47	16	16	34	1
教育学部	214	154	157	72	3	3	3	100	157	100	107	64		157	100	107	64	110	37	37	110	53	53	48	
医学部	305	202	207	66	8	8	8	100	194	84	84	43	11	194	76	76	39	139	72	72	140	98	98	70	9
医学部 附属病院	438	303	305	69	5	5	5	100	207	121	121	58	8	207	128	128	62	150	92	92	156	146	146	97	
工学部	168	122	122	73	5	5	5	100	108	94	94	87		108	94	94	87	78	21	21	78	25	25	32	
農学部	163	84	84	52	4	4	4	100	129	59	59	46	3	129	54	54	42	103	12	12	103	15	15	15	
教養部	73	59	59	81	3	2	2	67	56	39	43	70		56	37	41	66	43	7	7	43	8	8	19	
附属図書館	23	17	18	74	1	1	1	100	16	8	8	50		16	9	9	56	13	6	6	13	8	8	62	
工業短期 大学部	37	24	24	65	4	4	4	100	30	17	17	57		30	18	18	60	25	5	5	25	7	7	28	
計	1516	1032	1043	68	36	35	35	97	963	559	570	58	32	963	556	567	58	708	266	266	709	376	376	53	
					59	59	59		59	59	59	100	2	108	108	108	100	35	35	35	83	83	83	100	10

注 () 内数字は、希望者数を示す。

5) 昭和57年度 特別定期健康診断実施状況表

検査項目 部局	病原体 (4号)				チェンソー (5号)				放射線 (2号)				タイプ		ト (3号)			理学療法士 (4号)				深夜作業 (6号)				自動車運転手 (7号)				調理配ぜん (8号)												
	対象者	受診実人員	受診延人員	受診者	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診者	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診者	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診者	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診者	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診者	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診者	経過観察実施数							
事務局・学生部																3	3	3	100						3	3	3	100														
教育学部																5	4	4	80						3	3	3	100	1	1	1	100	7	7	84	100						
医学部	175	150	293	86							35	34	268	97			2	2	2	100						10	10	10	100	4	0	0	0	24	24	288	100					
医学部附属病院	413	384	774	93							35	34	64	91					2	2	2	100	194	184	184	95						24	24	48	100							
工学部											112	108	570	96			2	1	1	50																						
農学部						4	4	8	100					6	4	12	50													1	1	1	100									
教養部											6	4	8	67																												
附属図書館											20	20	80	100															3	3	12	33										
工業短期大学部											20	20	40	100															3	3	6	100										
計	588	534	1067	91		4	4	8	100					173	166	930	96	16	10	10	63	2	2	2	100	207	197	197	95	14	10	13	71	34	34	384						
											173	166	323	93																	34	34	68									

(注) 1. 放射線の上段数字は、問診及び皮膚の検査、下段数字は血液の検査を示す。
 2. 調理配ぜんの上段数字は、伝染病の検査、下段数字は寄生虫及び皮膚の検査を示す。

3. 昭和57年度 保健管理施設利用状況表

区分	長良地区(教育・教養)			那加地区(農		計	柳戸地区(本・工・短)		計		合計			
	学生	職員	計	学生	職員		学生	職員	学生	職員				
利用者総数	内科的処置	1,282(34)	741(18)	2,023(52)	216(13)	167(2)	383(15)	197(17)	933(34)	1,806(18)	2,739(52)	2,628(98)	2,714(38)	5,342(136)
	外科的処置	645(15)	107()	752(15)	78(3)	42()	120(3)	48(4)	276(8)	350()	626(8)	1,047(30)	499()	1,546(30)
	整形外科的処置	187(3)	57()	244(3)	4(1)	()	4(1)	61(15)	27(2)	136(1)	163(3)	279(21)	193(1)	472(22)
	眼科的処置	60(12)	10(1)	70(13)	5(1)	2(1)	7(2)	10(8)	30(9)	37()	67(9)	105(30)	49(2)	154(32)
	耳鼻科的処置	33(2)	2()	35(2)	()	()	()	12(12)	9(1)	27(1)	36(2)	54(15)	29(1)	83(16)
	皮膚科的処置	75(3)	52(1)	127(4)	24(2)	11()	35(2)	12(12)	45(3)	170()	215(3)	156(20)	233(1)	389(21)
	歯科口腔外科的処置	25(1)	15()	40(1)	6(2)	()	6(2)	10(10)	16(2)	16()	32(2)	57(15)	31()	88(15)
	精神神経科的処置	351()	5()	356()	12()	()	12()	()	34()	75()	109()	397()	80()	477()
	泌尿器科的処置	2(1)	3()	5(1)	()	()	()	()	4()	23(1)	27(1)	6(1)	26(1)	32(2)
	婦人科的処置	48()	3()	51()	()	()	()	()	6()	7()	13()	54()	10()	64()
	傷病外利用	1,401()	3()	1,404()	171()	22()	193()	470()	962()	50()	1,012()	3,004()	75()	3,079()
	合計	4,109(71)	998(20)	5,107(91)	516(22)	244(3)	760(25)	820(78)	2,342(59)	2,697(21)	5,039(80)	7,787(230)	3,939(44)	11,726(274)
利用者の内訳	健康相談													
	身体的面	811	202	1,013	58	34	92	69	360	632	992	1,298	868	2,166
	精神的面	350	5	355	13		13		42	59	101	405	64	469
	計	1,161	207	1,368	71	34	105	69	402	691	1,093	1,703	932	2,635
	救急処置													
	創部処置	561	54	615	85	25	110	44	234	168	402	924	247	1,171
	湿布	242	58	300	4	3	7	46	63	67	130	355	128	483
	洗点眼	18	5	23	3	1	4	2	17	22	39	40	28	68
	投薬	677	669	1,346	113	117	230	143	659	1,807	2,466	1,592	2,593	4,185
	注射								5	35	40	5	35	40
	ベット休養	72	3	75	3		3		20	7	27	95	10	105
	その他	9	9	18					15		15	24	9	33
計	1,579	798	2,377	208	146	354	235	1,013	2,106	3,119	3,035	3,050	6,085	
検査の内訳														
尿検査	376	46	422	65	17	82	29	181	101	282	651	164	815	
血圧測定	185	90	275	9	43	52	11	154	465	619	359	598	957	
心電図・心音図検査	36	5	41					12	8	20	48	13	61	
血液検査														
血沈	7	4	11					17	12	29	24	16	40	
血糖検査		16	16		5	5		4	76	80	4	97	101	
肝機能検査														
貧血検査	37	3	40								37	3	40	
糖負荷試験		2	2		3	3		5	14	19	5	19	24	
脳波検査	2		2								2		2	
眼底検査														
内科診察	210	81	291	33	9	42	4	129	156	285	376	246	622	
身体計測	115	31	146	2	1	3		18	35	53	135	67	202	
その他	330	50	380	36	26	62		328	136	464	694	212	906	
計	1,298	328	1,626	145	104	249	44	848	1,003	1,851	2,335	1,435	3,770	
救急薬品貸出	121		121	1		1	20	17	5	22	159	5	164	
証明書発行	124	10	134	134		134	22	841	5	846	1,121	15	1,136	
互助会相談	1,164		1,164	3		3	428				1,595		1,595	
その他	9		9								9		9	
延件数	5,456	1,343	6,799	562	284	846	818	3,121	3,810	6,931	9,957	5,437	15,394	

() 内は専門医に紹介した件数を内数で示す。

昭和57年度 月別保健管理施設利用状況(学生)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
利用者 総数 (医療機関 へ紹介 の件)	内科的処置	191(12)	395(24)	348(21)	121(9)	50()	237(2)	369(9)	179(4)	238(3)	215(5)	192(7)	93(3)	2,628(99)		
	外科的処置	92(3)	163(6)	170(4)	100(2)	55(2)	89(2)	89(4)	101(2)	72(4)	58()	29()	29(1)	1,047(30)		
	整形外科的処置	41(8)	36(3)	29(2)	13()	22(1)	15(2)	24()	35(2)	25()	8(1)	13(1)	18(1)	279(21)		
	眼科的処置	16(9)	4(3)	16(1)	6(2)	2()	11(1)	12(2)	11(4)	8(4)	11(2)	4(1)	4(1)	105(30)		
	耳鼻科的処置	9(3)	2()	10(1)	4(1)	1(1)	4(2)	4(1)	4(1)	5(1)	4(2)	4(2)	3()	54(15)		
	皮膚科的処置	10(4)	22(2)	22(3)	10(3)	8()	16(1)	21(3)	21()	9(3)	9(1)	3()	5()	156(20)		
	歯科口腔外科的処置	3(1)	6(2)	2()	6(2)	4(1)	4(1)	6(1)	9(3)	3(1)	7()	4(1)	3(2)	57(15)		
	精神神経科的処置	95()	109()	43()	16()	21()	27()	20()	9()	14()	7()	17()	19()	397()		
	泌尿器科的処置	1(1)	()	()	()	()	()	4()	()	1()	()	()	()	6(1)		
	婦人科的処置	13()	5()	8()	4()	()	8()	6()	1()	1()	3()	2()	3()	54()		
	傷病外利用	232()	169()	322()	439()	296()	368()	353()	193()	168()	176()	156()	132()	3,004()		
	合計	703(41)	911(40)	970(32)	719(19)	459(5)	779(11)	908(20)	563(16)	544(16)	498(11)	424(12)	309(8)	7,787(231)		
利用者 の内訳	健康相談	身体的面	109	164	182	85	38	122	144	102	91	109	90	62	1,298	
		精神的面	95	109	43	16	21	28	23	11	14	8	18	19	405	
		計	204	273	225	101	59	150	167	113	105	117	108	81	1,703	
	救急 処置	創部処置	81	139	162	96	41	74	81	81	64	52	25	28	924	
		湿布	37	50	40	18	34	25	33	51	28	11	13	15	355	
		洗点	4	1	7	1	2	6	7	5	1	4	2		40	
		投薬	128	133	150	67	48	135	158	164	175	196	158	80	1,592	
		注射									3	1	1		5	
		ベット休養	15	15	13	6	5	8	6	9	3	4	10	1	95	
		その他		2	1	2				17	1	1				24
		計	265	340	373	190	130	248	285	327	275	269	209	124	3,035	
	検査	尿検査	50	195	98	27	11	43	123	17	43	17	19	7	650	
		血圧測定	13	36	35	6		68	142	32	17	5	1	5	360	
		心電図・心音図検査	4	20	19	3			1	1					48	
		血液検査	血糖検査		1	16	3			2	2					24
肝機能検査									2	1		1			4	
貧血検査			1		3	1		23	2	3	1	1		3	38	
糖負荷試験									3			1		4		
脳波検査	1		1										2			
その他	眼底検査															
	診察	27	72	81	19	2	19	24	26	20	39	36	11	376		
	身体計測	1	3	25	5	4	18	31	3	29	6	6	4	135		
	その他	82	35	67	24	2	35	116	51	83	88	89	18	690		
	計	179	362	345	88	19	206	443	139	193	156	153	48	2,331		
その他	救急薬品貸出	9	16	17	31	15	5	5	15	13	10	11	12	159		
	証明書発行	21	6	141	266	185	201	162	43	19	62	10	5	1,121		
	互助会相談	147	147	161	153	96	164	124	121	136	102	133	111	1,595		
	その他	3		2	1					1	1		1	9		
延件数	828	1,144	1,264	829	505	974	1,186	758	742	717	624	382	9,953			

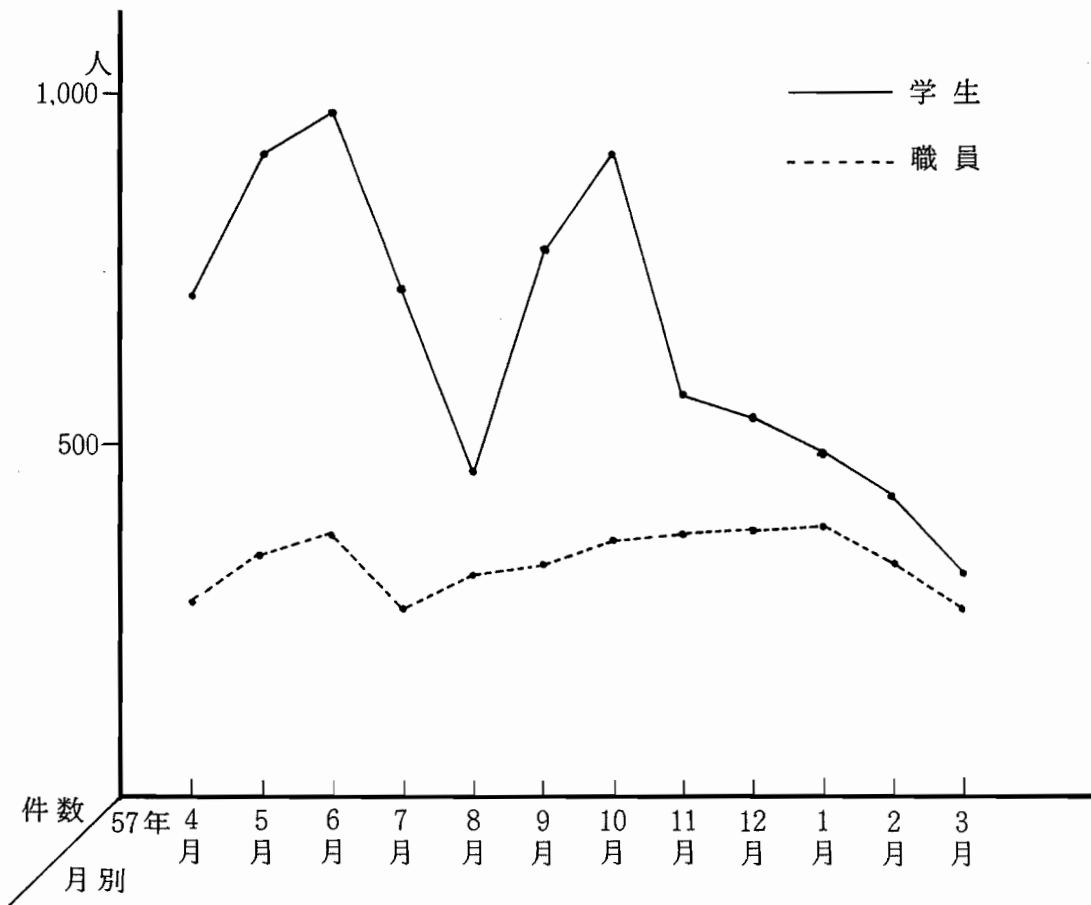
()内は専門医に紹介した件数を内数で示す。

昭和57年度 月別保健管理施設利用状況 (職員)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
利用者総数 (医療機関へ紹介は他)	内科的処置	163()	253(3)	234(4)	148()	185(2)	201(3)	232(8)	257(8)	293(3)	298(3)	268(2)	178(2)	2,710(38)		
	外科的処置	34()	30()	69()	40()	44()	57()	46()	37()	35()	27()	34()	46()	499()		
	整形外科的処置	16()	14()	21()	30(1)	24()	23()	12()	20()	7()	7()	10()	9()	193(1)		
	眼科的処置	2()	8(1)	6()	4()	5()	5()	3()	3(1)	2()	3()	4()	4()	49(2)		
	耳鼻科的処置	2()	3()	1()	1()	1()	5()	2()	3()	5()	1(1)	1()	4()	29(1)		
	皮膚科的処置	13()	20()	18()	20()	33()	25()	23()	17(1)	12()	22()	15()	15()	233(1)		
	歯科口腔外科的処置	()	1()	1()	1()	5()	3()	4()	5()	5()	4()	1()	2()	32()		
	精神神経科的処置	12()	14()	9()	8()	8()	5()	4()	9()	6()	5()	4()	4()	88()		
	泌尿器科的処置	1()	2()	1()	2()	2()	1(1)	()	5()	1()	3()	()	()	18(1)		
	婦人科的処置	2()	3()	5()	()	()	1()	1()	()	()	1()	1()	()	14()		
	傷病外利用	26()	1()	2()	2()	2()	()	30()	4()	()	2()	1()	()	70()		
	合計	271()	349(4)	367(4)	256(1)	309(2)	326(4)	357(8)	360(10)	366(3)	373(4)	339(2)	262(2)	3,935(44)		
利用者 の内訳	健康相談	身体的面	8	90	96	47	82	75	84	78	83	99	68	58	868	
		精神的面	6	12	9	7	8	4	2	5	4	2	2	3	64	
		計	14	102	105	54	90	79	86	83	87	101	70	61	932	
	救急処置	創部処置	18	20	29	25	21	36	23	11	17	10	15	22	247	
		湿布	8	10	16	20	14	16	9	17	3	3	5	7	128	
		洗点	2	10	3	2	3	1		1		3	2	1	28	
		投薬	188	168	199	174	193	189	218	241	266	290	268	199	2,593	
		注射				4	7	7	6	4	2	2	2	1	35	
		ベット休養	1	3	2	1	1	1			1				10	
		その他		1	1			1	1	3	1	2			10	
	計	217	212	250	226	239	251	257	277	290	310	292	230	3,051		
	検査・その他	尿検査	2	40	26	10	14	10	12	21	6	11	5	7	164	
		血圧測定	20	82	66	40	33	59	53	54	55	54	43	39	598	
		心電図・心音図検査			5		3	2	2	1		1	1		15	
		血液検査	血沈	1		13	1			1						16
			血糖検査	3	15	13	10	6	10	9	9	5	8	4	3	95
			肝機能検査													
		貧血検査	1		1			1							3	
糖負荷試験			1	3		3	2	6	2	1	1			19		
脳波検査																
眼底検査																
診察	5	13	42	10	6	11	19	47	28	33	25	7	246			
その他	身体計測		3	8	11	6	2	1	13	10	5	3	5	67		
	その他	31	12	7	9	2	7	46	21	20	31	20	6	212		
	計	63	166	184	91	73	104	149	168	125	144	101	67	1,435		
	救急薬品貸出					1		2	1		1			5		
その他	証明書発行		1		3	2	2		2	2	1	2		15		
	互助会相談															
	その他															
延件数		294	481	539	374	405	436	494	531	502	558	464	360	5,438		

() 内は専門医に紹介した件数を内数で示す。

57年度 月別利用状況



2
第
2
第4
2

Ⅲ 保健管理センター規則等

1) 岐阜大学保健管理委員会規則

(趣 旨)

第1条 岐阜大学（岐阜大学工業短期大学部（以下「短期大学部」という。）を含む。（以下「本学」という。）における学生及び職員の保健管理に関する基本的な事項を審議するため、本学に岐阜大学保健管理委員会（以下「委員会」という。）を置き、委員会に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 学 長
- 二 各学部長、教養部長及び短期大学部主事
- 三 医学部附属病院長
- 四 保健管理センター所長
- 五 事務局長
- 六 学生部長
- 七 その他学長が必要と認める者

2 前項第7号に規定する委員は、学長が委嘱し、その任期は1年とし、再任を妨げない。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 保健管理の基本方針に関する事項
- 二 環境衛生の維持改善に関する事項
- 三 保健管理センターの組織及び運営に関する重要事項
- 四 保健管理センターの所長及び教官の人事に関する事項
- 五 その他保健管理に関する重要事項

2 前項第4号に掲げる事項について審議する場合には、前条第1項第5号及び第7号に規定する委員を除くものとする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させることができる。

(会議)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。

(専門委員会)

第7条 委員会は、特定の事項を調査審議するため、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の委員は、委員長が委嘱する。

(幹事)

第8条 委員会に幹事を置き、庶務部長及び学生部次長をもって充てる。

2 幹事は、委員会の事務を処理する。

附 則

この規則は、昭和49年7月16日から施行する。

2) 岐阜大学保健管理センター規則

(趣 旨)

第1条 岐阜大学保健管理センター（以下「保健管理センター」という。）は、岐阜大学（岐阜大学工業短期大学部（以下「短期大学部」という。）を含む。以下「本学」という。）における学生及び職員の心身の健康の保持増進を図るものとし、保健管理センターの組織及び運営に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(業 務)

第2条 保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 学内の保健計画の立案について指導援助すること。
- 二 定期及び臨時の健康診断の業務を行うこと。
- 三 健康相談に応ずること。
- 四 救急処置を行うこと。
- 五 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導を行うこと。
- 六 学内の環境衛生及び伝染病予防について指導援助すること。
- 七 保健管理の充実向上のための調査・研究を行うこと。
- 八 その他健康の保持増進について必要な専門的業務を行うこと。

(組 織)

第3条 保健管理センターに次の職員を置く。

- 一 所長
- 二 保健管理医
- 三 カウンセラー
- 四 技術職員
- 五 事務職員

(分 室)

第4条 保健管理センターには、必要に応じ分室を置くことができる。

- 2 分室に関し必要な事項は、別に定める。

(所長及び保健管理医等)

第5条 所長は、本学の教授をもって充て、保健管理センターの業務を掌理する。

- 2 保健管理医及びカウンセラーは、本学の教官をもって充て、保健管理に関する専門的業務を行う。
- 3 前2項に規定する所長及び教官の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(委員会)

第6条 保健管理センターに保健管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会は、所長の諮問に応じ、保健管理センターの運営に関する具体的な方策その他必要な事項を審議する。

(委員会の組織)

第7条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 所長
- 二 学生部長
- 三 保健管理医
- 四 カウンセラー
- 五 学生相談室員
- 六 学校医
- 七 各学部、教養部及び短期大学部から選出された教官 各1人
- 八 庶務部長
- 九 学生部次長
- 十 その他委員会が必要と認める者

- 2 前項第7号及び第10号に規定する委員は、学長が委嘱し、その任期は、1年とし、再任を妨げ

ない。

(会議)

第8条 所長は、委員会を招集し、その議長となる。

(事務)

第9条 保健管理センターに関する事務は、当分の間、学生部厚生課において処理する。

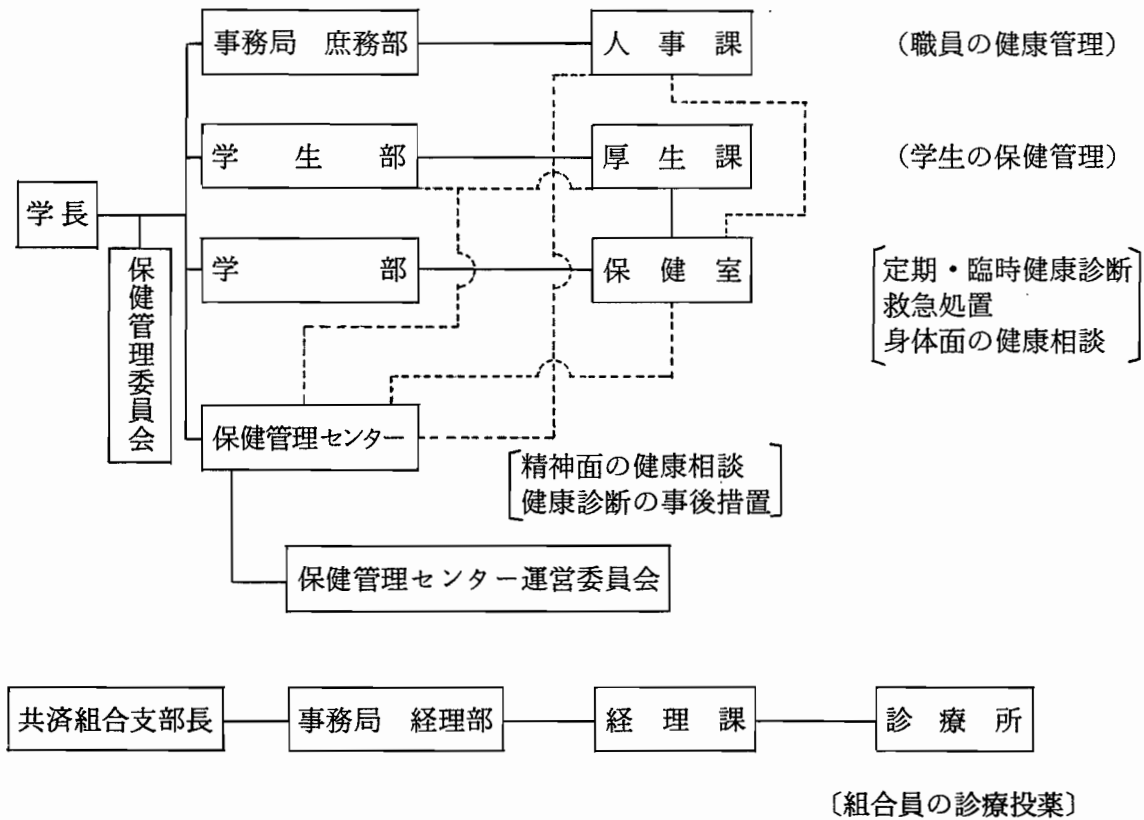
附 則

- 1 この規則は、昭和49年7月16日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、当分の間、同条第2号に規定する業務のうち職員に係る部分については庶務部人事課、学生に係る部分については学生部厚生課において、それぞれ処理するものとする。

附 則

この規定は、昭和55年12月18日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

3) 保健管理機構略図



4) 学医及び学生相談室員の相談日割

長良地区 岐阜市長良城之内 1466 <0582> 31-4161
内線 387

曜	担 当	専門分野・科目	相 談 時 間
月	田 中 助 教 授	精 神 科	9 : 00 ~ 12 : 00
	里 見 助 手	内 科	" ~ "
	加 納 助 手	"	13 : 00 ~ 17 : 00
	藤 井 教 授	学 校 保 健	15 : 00 ~ 17 : 00
火	田 中 助 教 授	精 神 科	9 : 00 ~ 17 : 00
水	里 見 助 手	内 科	9 : 00 ~ 12 : 00
	返 田 教 授	心 理 学	9 : 00 ~ 11 : 00
	田 中 助 教 授	精 神 科	13 : 00 ~ 17 : 00
	杉 山 医 師	内 科	" ~ "
木	田 中 助 教 授	精 神 科	9 : 00 ~ 12 : 00
	丸 井 教 授	発 達 心 理 学	15 : 00 ~ 17 : 00
金	山 北 助 手	内 科	9 : 00 ~ 17 : 00
	田 中 助 教 授	精 神 科	13 : 00 ~ 17 : 00
	杉 江 教 授	保 健 体 育	前期 13:00~15:00 後期 10:00~12:00
	馬 路 助 教 授	食 物 学	15 : 00 ~ 17 : 00

那加地区 各務原市那加門前町 3-1 <0583> 82-1201
内線 235

曜	担 当	専門分野・科目	相 談 時 間
月	里 見 助 手	内 科	13 : 00 ~ 17 : 00
火	赤 座 医 師	"	" ~ "
水	山 北 助 手	"	" ~ "
金	田 中 助 教 授	精 神 科	9 : 00 ~ 12 : 00
土	田 中 助 教 授	"	" ~ "

柳戸地区 岐阜市柳戸1番1

<0582> 30 - 1111

内線 2380

曜	担 当	専門分野・科目	相 談 時 間
月	田 中 助 教 授	精 神 科	13 : 00 ~ 17 : 00
火	山 北 助 手	内 科	9 : 00 ~ 12 : 00
水	山 北 助 手	〃	9 : 00 ~ 12 : 00
	五 島 助 手	〃	13 : 00 ~ 17 : 00
木	田 中 助 教 授	精 神 科	〃 ~ 〃
金	里 見 助 手	内 科	9 : 00 ~ 17 : 00

司 地区 岐阜市司町40

<0582> 65 - 1241

曜	担 当	専門分野・科目	相 談 時 間
月	白 井 助 手	内 科	13 : 00 ~ 17 : 00
	鈴 木 講 師	耳 鼻 咽 喉 科	15 : 00 ~ 16 : 00
火	難 波 教 授	精 神 科	13 : 30 ~ 15 : 30
	船 橋 講 師	眼 科	13 : 00 ~ 14 : 00
木	池 田 講 師	整 形 外 科	15 : 00 ~ 16 : 00
金	古 田 助 手	外 科	13 : 00 ~ 14 : 00
	今 枝 講 師	放 射 線 科	〃 ~ 〃

- 司地区で各専門医の相談を希望する者は必ず事前に保健管理センター、または各保健室の受付窓口申し出て係員の指示に従って下さい。

5) 関係職員

○保健管理委員会委員

学	長	館	正	知
教 育 学 部	長	石	正	也
医 学 部	長	早	三	郎
工 学 部	長	安	善	司
農 学 部	長	永	幸	雄
教 養 部	長	山		堯
工業短期大学部	主事	生 源	治	雄
医学部附属病院	長	赤	義	彦
保健管理センター	所長	平	千	里
事 務 局	長	吉	幸	夫
学 生 部	長	西	浩	三

○保健管理センター運営委員会委員

保健管理センター	所長	平	川	千	里
学 生 部	長	西	川	浩	三
保 健 管 理 医		田	中		實
”		里	見	和	夫
”		山	北	宜	由
教 育 学 部 教 授		安	藤	一	郎
”		丸	井	澄	子
”		藤	井	真	美
教 育 学 部 助 教 授		馬	路	泰	藏
医 学 部 教 授		山	田		弘
”		難	波	益	之
工 学 部 教 授		大	澤	直	志
農 学 部 教 授		田	島	俊	雄
教 養 部 教 授		大	淵	正	雄
”		杉	江		律
”		返	田		健
工業短期大学部	教授	杉	本	利	孝
医 学 部 助 手		五	島	英	一

医学部助手
 医学部附属病院講師
 “
 “
 “
 医学部附属病院助手
 “
 庶務部長
 学生部次長
 開業医
 “

古池 田 智 彦
 池 田 正 清
 船 橋 智 員
 鈴 木 智 雄
 鈴 枝 孟 義
 今 納 孟 隆
 加 井 隆
 白 村 実
 今 本 俊 男
 赤 座 一
 杉 山 斎
 成

○保健管理センター

所 長	医学部教授	平 川 千 里
保健管理医	助 教 授	田 中 和 實
“	助 手	里 見 和 夫
“	“	山 北 宜 由
学生相談室員	教育学部教授	丸 藤 井 澄 子
“	“ 教授	藤 馬 井 路 真 美
“	教育学部助教授	馬 難 波 泰 蔵
“	医学部教授	難 杉 波 益 之
“	教養部教授	杉 返 江 田 律 健
“	“	返 五 田 島 一
“	医学部助手	五 加 島 英 隆
“	医学部附属病院助手	加 白 井 納 隆
“	“	白 五 井 島 英 一
医師（学校医）	医学部助手	五 加 井 島 隆
“	医学部附属病院助手	加 白 井 納 隆
“	“	白 古 田 智 彦
“	医学部助手	古 池 田 智 清
“	医学部附属病院講師	池 鈴 木 枝 孟 義
“	“	鈴 今 橋 正 員
“	“	今 船 橋 孟 正
保 健 婦	“	中 尾 尾 正 け さ

○長良地区

医師（学校医）	医学部助手	五島英一
“	開業医	杉山甫成子
看護婦	厚生課	丹羽美穂子
“	教育学部	山田中栄子

○那加地区

医師（学校医）	開業医	赤座齋
看護婦	農学部	林垣可代子

○柳戸地区

医師（学校医）	医学部附属病院助手	臼井実子
看護婦	工学部	栗本良子

○司地区

医師（学校医）	医学部助手	古田智彦
“	医学部附属病院講師	池田清員
“	“	船橋正雄
“	“	鈴木智雄
“	“	今枝孟雄
“	医学部附属病院助手	加納隆

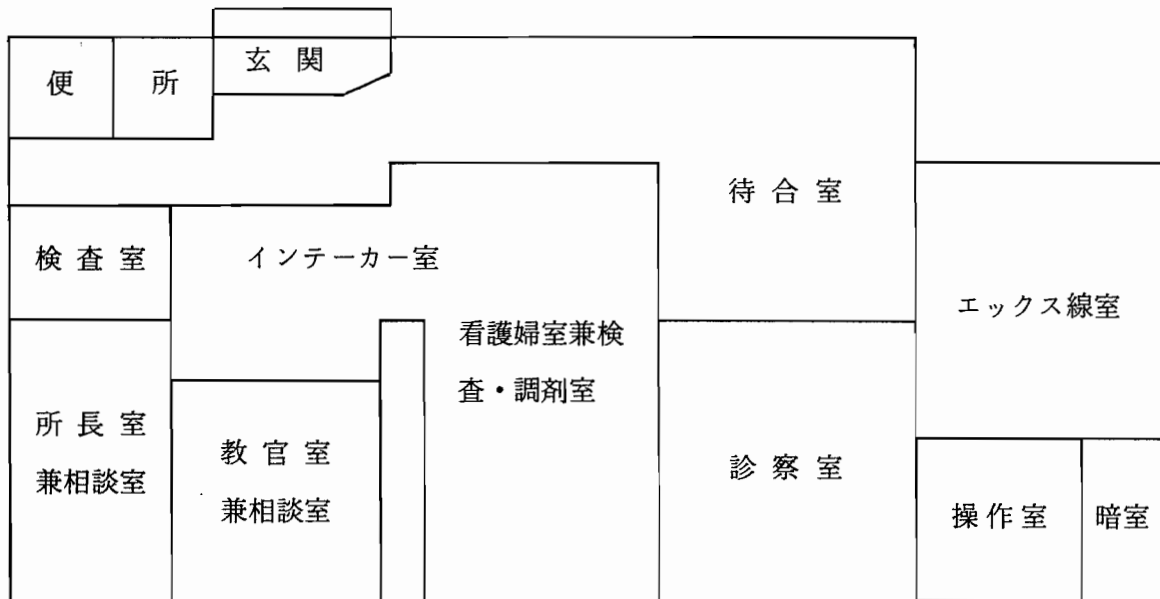
保健管理センターに関する事務担当課、学生部厚生課

厚生課長	文部事務官	武井重治
保健係長	文部事務官	村瀬梅盛
係員	事務補佐員	高橋理恵子

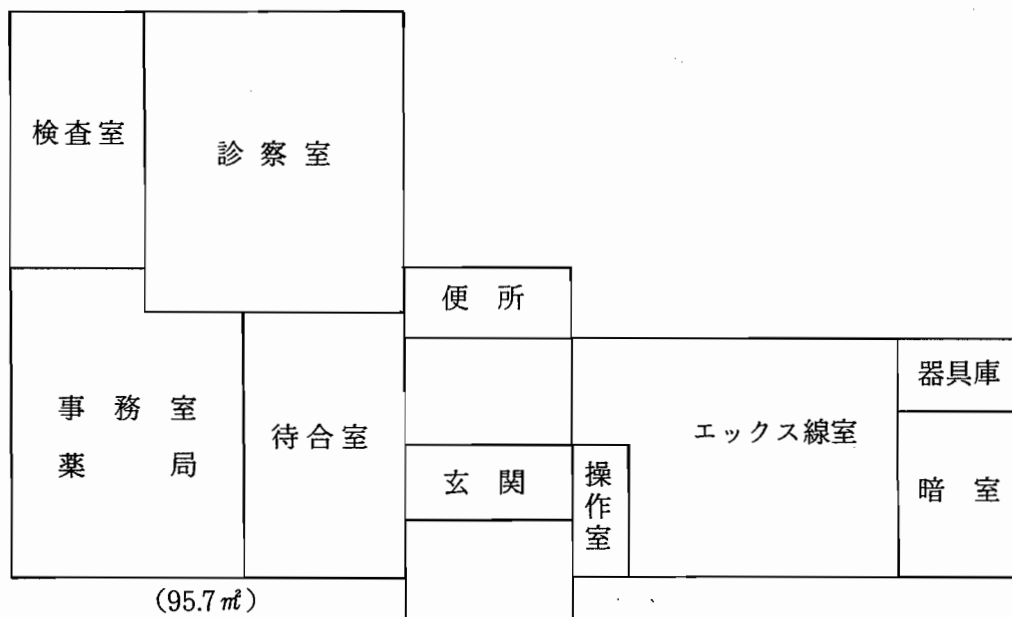
6) 建物平面図

保健管理センター・長良保健室平面図

(170㎡)



那加保健室平面図



7) 主要設備備品

品名	規格	数量	設置場所
胸部レントゲン撮影装置	東芝KCD-10 PR	2	長良・那加保健室
エックス線防護装置	オリオン電機製	2	〃
自動間接巻取装置	コダック	1	那加保健室

品名	規格	数量	設置場所
S P プロジェクター	保健資材製70ミリ用	1	那加保健室
間接シャウカステン	100ミリ用手動式 オリオン製ORS-401	2	保健管理センター
シャウカステン	オリオンFNG型	1	"
心電計	福田熱ペン式RS-102E-S	1	長良・那加保健室
"	3要素自動FD-36	1	"
心音心電計	2要素直記式RS-200S	1	長良保健室
"	" FD-21P	1	那加保健室
オーディオメーター	リオンAA-32型	1	"
聴力検査室	リオンAT-4C	1	長良保健室
全自動血圧計	日本コーリンBP 103	4	保健管理センター
自動血圧計	植田USM-108	3	長良・那加保健室
脳波計	三栄測器IAI2-14C型	1	保健管理センター
脳波分析装置	三栄測器7P-11型	1	"
臨床化学分析装置	日立ハイスタット700	1	"
マイクロ波治療器	平和電子Mt-7P	1	長良保健室
ヘマトクリット用遠心機	久保田高速微量KH-120	2	那加保健室・保健管理センター
遠心機	クボタ卓上用NC-25A	1	保健管理センター
高圧滅菌器	HP-15 ポータブルスピード	1	"
"	オートクレーブトミー	1	那加保健室
乾熱滅菌器	HEI型電気用	1	"
蒸気消毒器	シンメルO W製	1	"
上皿天秤	US-120ヤガミ自動	1	"
顕微鏡	オリンパスEC型	1	長良保健室
双眼顕微鏡	オリンパスBHC-111	1	那加保健室
"	オリンパスEHS-423	2	保健管理センター・那加
中性脂肪測定器	TMG-2020 第1科学	1	"
自動血球計算器	エルマACM-20	1	"
自動稀釈装置	エルマAD-50	1	"
血糖測定器	デキスター三共	2	"
血色素測定器	ヘモグロビンメーターE-620A	1	"
フリッカー値測定器	八神FV-20自動式	1	"
尿自動分析器	山之内製薬製UA-6 デジタルプリンター付	1	"
聴診器	アレンマーク五	2	"
英文タイプライター	トライアンフガブリエル5000	1	"
スライド映写機	エルモA-33	1	"
"	フジックスSPT5000	1	"

品名	規格	数量	設置場所
写真機	35ミリ ニコンF2	1	保健管理センター・那加
8ミリ映写機	エルモST-800	1	〃
8ミリ撮影機	エルモ600S	1	〃
スクリーン	三脚スタンド式	1	〃
複写機	東芝BM-1000	1	〃
テレビ	ソニーKV-1300	1	〃
ビデオコーダー	ソニーSL-7100	1	〃
人工蘇生器	NKP-I型救急用自動	1	〃
人口呼吸訓練用人形	アイカニューレサッアン	1	〃
精密照度計	LX-300	1	〃
アスマ吸気湿度計	シバタ8031-05	2	〃
卓上電子計算機	シャープCS227S	1	〃
応接セット		2	〃
カセットテープレコーダー	東芝RT310F	1	〃
〃	AIWA キャリングコンポCU5	1	保健管理センター
ストップウォッチ		6	長良・那加・センター
身長計		4	長良・那加・司保健室
体重計		4	〃
座高計		3	〃
視力検査装置	電気回転式	5	長良・那加保健室
視力器	スタンド式移動台付	2	〃
水銀血圧計		10	長良・那加・司・センター
握力計		4	長良・那加保健室
背筋力計		1	那加保健室
〃	スパースタンド型(OS)	1	〃
肺活量計		3	長良・那加保健室
寝台		7	長良・那加・司・センター
器械戸棚		3	長良・那加保健室
器械卓		4	〃
薬品保冷库	三洋電気MPR-210	1	保健管理センター
消毒用噴霧器		2	保健管理センター・那加保
皮下脂肪計	ヤガミNK-60	1	保健管理センター
電子握力計	ヤガミED-100N	1	〃
雑誌架		2	保健管理センター・那加保
内科神経科診察用具セット	ユフ精器工型G-345	1	保健管理センター

(参考)

昭和57年度 学生教育研究災害保険加入状況

57. 4. 30 現在

学 部	学 生 数	加 入 者 数	加 入 率
教 育 学 部	3 2 6 人	3 0 9 人	9 4.8 %
医 学 部	8 4	8 3	9 8.8
工 学 部	3 6 0	3 4 1	9 4.7
農 学 部	2 1 1	1 9 5	9 2.4
小 計	9 8 1	9 2 8	9 4.6
医 学 研 究 科	9	6	6 6.7
工 学 研 究 科	6 2	5 1	8 2.3
農 学 研 究 科	5 9	3 9	6 6.1
教 育 専 攻 科	5	3	6 0.0
重複障害教育教員養成課程	2 1	1 6	7 6.2
農 業 別 科	3	1	3 3.3
小 計	1 5 9	1 1 6	7 3.0
合 計	1,1 4 0	1,0 4 4	9 1.6

昭和57年度 学生健康保険互助会加入状況

57. 4. 30 現在

学 部	学 生 数	加 入 者 数	加 入 率
教 育 学 部	3 2 6 人	3 1 3 人	9 6.0 %
医 学 部	8 4	8 3	9 8.8
工 学 部	3 6 0	3 4 4	9 5.6
農 学 部	2 1 1	1 9 6	9 2.9
小 計	9 8 1	9 3 6	9 5.4
医 学 研 究 科	9	6	6 6.7
工 学 研 究 科	6 2	5 0	8 0.6
農 学 研 究 科	5 9	3 9	6 6.1
教 育 専 攻 科	5	3	6 0.0
重複障害教育教員養成課程	2 1	1 6	7 6.2
農 業 別 科	3	1	3 3.3
小 計	1 5 9	1 1 5	7 2.3
合 計	1,1 4 0	1,0 5 1	9 2.2

学生教育研究災害傷害保険適用一覽

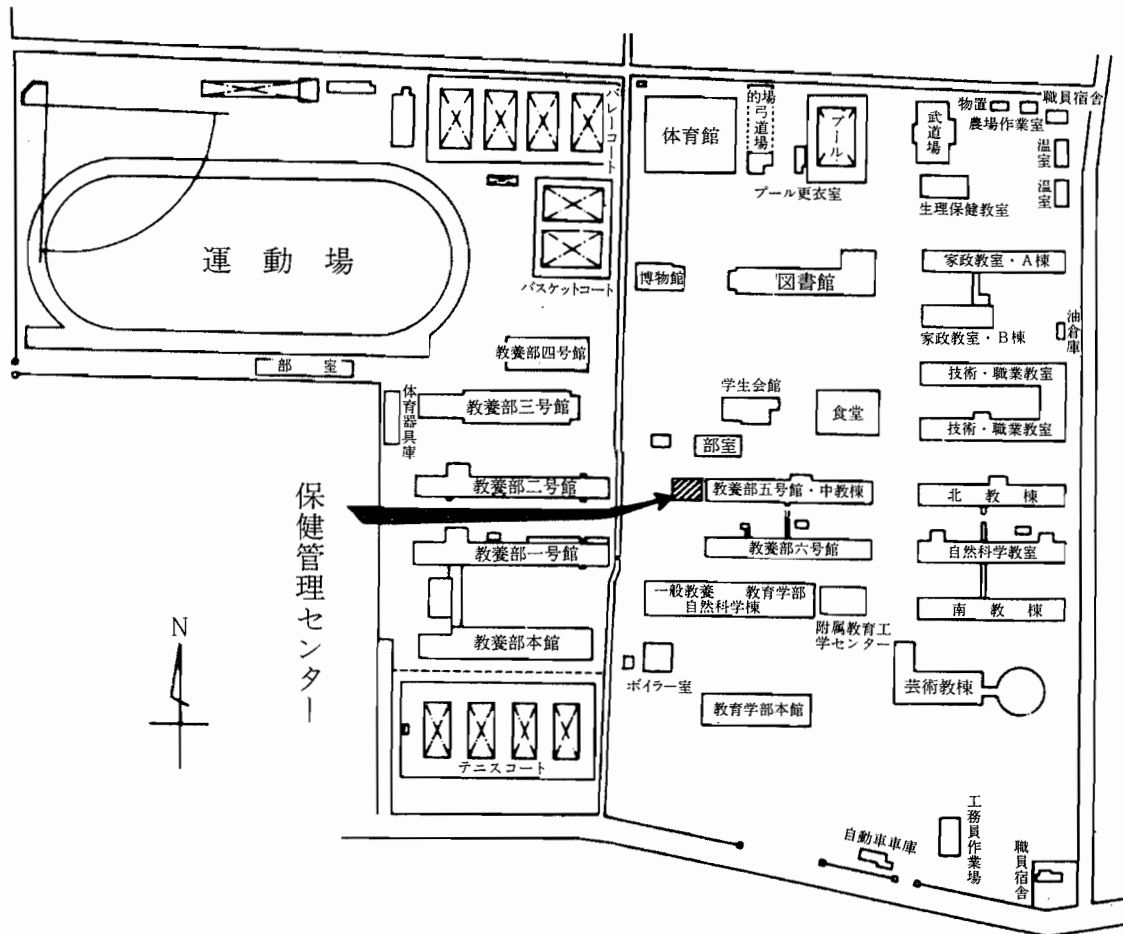
事故発生年 月	学 部 科	学年	傷 病 名		治 療 期 日(日)	保 險 金 額
54. 5	工 学 部 科 精 密 工 学 科	2	左 腕 骨 遠 位 端 再 骨 折 左 手 関 節 部 捻 挫	体 育 中 实 技 中	44	25,000 ^円
54. 6	工 学 部 科 工 業 化 学 科	4	頸 部、両 手 部、肢 部 皮 膚 炎	实 験 中	7	10,000
54. 6	工 学 部 科 電 子 工 学 科	2	左 足 首 捻 挫	体 育 中 实 技 中	19	15,000
54. 6	農 学 部 科 林 学 科	4	接 触 性 皮 膚 炎	实 験 中	15	15,000
54. 11	工 学 部 科 合 成 化 学 科	4	左 腕 骨 下 端 骨 折 軽 度 腫 脹	課 外	19	15,000
54. 11	教 育 学 部 科 化 学 科	3	左 手 掌 切 創 ガ ラ ス 片 埋 没	实 験 中	9	10,000
54. 12	医 学 部 科 医 学 科	1	鼻 骨 骨 折	体 育 中 实 技 中	14	15,000
54. 12	教 育 学 部 科 美 術 工 芸 学 科	2	右 示 指 切 創 (未 節 骨 切 創)	講 議 中	21	15,000
54. 12	農 学 部 科 農 業 工 学 科	4	下 顎 裂 創 傷	实 習 中	7	10,000
54. 12	教 育 学 部 科 物 理 化 学 科	1	左 指 部 捻 挫	体 育 中 实 技 中	41	25,000
55. 1	教 育 学 部 科 体 育 学 科	2	右 後 頭 部 裂 傷	体 育 中 实 技 中	11	10,000
55. 1	教 育 学 部 科 体 育 学 科	2	右 膝 捻 挫 右 足 首 捻 挫	体 育 中 实 技 中	23	15,000
55. 2	農 学 部 科 農 芸 化 学 科	2	頭 部 打 撲 挫 創	体 育 中 实 技 中	22	15,000
55. 5	工 学 研 究 科 織 維 工 学 科	2	左 手 二 指 裂 傷	实 験 中	9	15,000
55. 5	工 学 部 科 工 業 化 学 科	4	右 手 人 差 指 裂 傷	实 験 中	8	15,000
55. 6	教 育 学 部 科 化 学 科	2	外 傷 性 鼓 膜 穿 孔	体 育 中 实 技 中	19	30,000
55. 6	教 育 学 部 科 社 会 学 科	1	腰 部 打 撲	体 育 中 实 技 中	22	30,000
55. 6	教 育 学 部 科 生 物 地 学 科	2	前 額 部 挫 傷	体 育 中 实 技 中	9	15,000
55. 6	医 学 部 科 医 学 科	2	右 薬 指 中 節 首 龜 裂 骨 折	体 育 中 实 技 中	23	30,000
55. 6	農 学 部 科 獸 医 学 科	2	右 手 首 関 節 挫 傷	体 育 中 实 技 中	12	15,000
55. 6	医 学 部 科 医 学 科	1	左 睪 丸 破 裂	課 外	入 院 8 医 療 90	142,000

事故発生年	学 部	学 部	学 年	傷 病 名		治 療 日(日)	保 險 金 額
55. 8	農 学 部	農 学 部	4	右手掌部挫創	実 験 中	20	30,000
55. 8	教 育 学 部	教 育 学 部	4	右手火傷	実 験 中	10	15,000
55. 9	工 業 学 部	工 業 学 部	4	左中指切創	実 験 中	11	15,000
55. 10	教 育 学 部	教 育 学 部	4	右母指挫創、右2.3.5指爪部打撲 右第4指末節骨折	実 験 中	20	30,000
55. 10	教 育 学 部	社 会 学 部	4	左下顎骨骨折	課 外	入院 10 医療 80	120,000
55. 11	工 機 学 部	機 械 工 学 部	3	右肩鎖関節脱臼	課 外	入院 11 通院 144	184,000
56. 1	教 育 学 部	家 政 学 部	2	肩鎖関節脱臼	体 育 中 実 技 中	19	30,000
56. 1	農 学 部	林 学 部	1	右腓骨下端輝裂骨折	体 育 中 実 技 中	30	50,000
56. 2	教 育 学 部	数 学 部	2	右手首骨折	体 育 中 実 技 中	29	30,000
56. 2	教 育 学 部	教 育 学 部	2	左小指中節骨骨折	体 育 中 実 技 中	29	30,000
56. 4	農 学 部	農 芸 学 部	4	右環指切創	実 験 中	8	15,000
56. 4	工 業 学 部	工 業 学 部	4	右橈骨下端骨折	課 外	40	50,000
56. 5	工 業 学 部	工 業 学 部	4	右環指末節骨骨折		30	50,000
56. 6	工 機 学 部	機 械 工 学 部	4	右中指挫滅創	実 験 中	15	30,000
56. 6	教 育 学 部	社 会 学 部	4	左アキレス腱断裂	課 外	入院 42 医療 42	218,000
56. 6	農 学 部	農 学 部	2	左人差指切傷	実 習 中	11	15,000
56. 7	工 合 成 学 部	合 成 学 部	4	左手中指切創	実 験 中	7	15,000
56. 8	農 学 部	獸 医 学 部	2	左手第一中手骨 ペイネット骨折	課 外	38	50,000
56. 9	教 育 学 部	物 理 化 学 部	3	鼻骨骨折 鼻部外傷(裂傷)	体 育 中 実 技 中	8	15,000
56. 9	教 育 学 部	物 理 化 学 部	4	左手掌部創傷	実 験 中	10	15,000
56. 11	教 育 学 部	物 理 化 学 部	4	左示指切創	実 験 中	6	6,000
56. 11	医 学 部	医 学 部	1	右耳介挫創	体 育 中 実 技 中	8	15,000

事故発生年 月	学 部 学 科	学年	傷 病 名		治 療 期 日(日)	保険金額
56. 11	教 育 学 部 英 語 英 文 学 科	2	左薬指マレットフィンガー	体 育 中 実 技 中	17	30,000
56. 12	教 育 学 部 生 物 地 学 科	1	右肩鎖関節亜脱臼	体 育 中 実 技 中	23	30,000
56. 12	工 学 部 土 木 工 学 科	4	結角膜異物及び角膜腐蝕 (両眼)	実 験 中	入院10 医療28	170,000
56. 12	教 育 学 部 生 物 地 学 科	1	背中腰打撲	体 育 中 実 技 中	4	6,000
57. 1	教 育 学 部 体 育 学 科	2	肩のねんざ	体 育 中 実 技 中	11	15,000
57. 4	農 学 部 獣 医 学 科	4	左拇指・左示指・左中指 左環指の切傷	実 験 中	11	15,000
57. 5	教 育 学 部 技 術 ・ 職 業 学 科	3	左手指挫傷	講 議 中	15	30,000
57. 5	工 学 部 工 業 化 学 科	4	左第二指切創	実 験 中	8	15,000
57. 5	教 育 学 部 体 育 学 科	3	左小指近位指間関節脱臼 兼骨折	体 育 中 実 技 中	16	30,000
57. 6	農 学 研 究 科 農 学 科	1	左手示指挫創	実 験 中	10	15,000
57. 6	農 学 部 獣 医 学 科	3	左手第二・三・四指火傷	実 習 中	21	30,000
57. 6	工 学 研 究 科 工 業 化 学 科	2	手平創傷	実 験 中	8	15,000
57. 6	教 育 学 部 体 育 学 科	3	右第4中手骨々折	体 育 中 実 技 中	30	50,000
57. 6	農 学 部 家 禽 畜 産 学 科	3	左第二指皮膚欠損創	課 外	30	50,000
57. 7	教 育 学 部 英 語 英 文 学 科	1	前房出血(左)	課 外	30	50,000
57. 10	工 学 部 工 業 化 学 科	2	右手に深い裂傷	実 験 中	7	15,000
57. 10	工 学 部 精 密 工 学 科	4	歯牙破折	行 事 中	44	50,000
57. 11	工 学 部 機 械 工 学 科	4	右第二指切創	実 験 中	9	15,000
57. 11	教 育 学 部 数 学 科	2	左 IV 趾挫創兼趾骨間関 節脱臼	体 育 中 実 技 中	9	15,000
57. 12	工 学 部 機 械 工 学 科	2	左側膝内障兼関節血腫兼 膝蓋骨々折	体 育 中 実 技 中	入院62 医療85	328,000
57. 12	工 学 部 工 業 ・ 合 成 化 学 科	1	鼻骨骨折	体 育 中 実 技 中	14	30,000
58. 1	工 学 部 土 木 工 学 科	1	左下腿裂傷	体 育 中 実 技 中	4	6,000

保健管理センター位置図

(岐阜市長良城之内 1466
TEL<0582> 31-4161 内線 387)



岐阜大学保健管理センター年報 第7号

昭和58年12月 発行

編集
発行 岐阜大学保健管理センター
岐阜市長良城之内 1466